

## 第8章 文化財の魅力づくりに関する課題・方針と措置

### 1 関連文化財群

関連文化財群とは、指定・未指定にかかわらず多種多様な文化財を、歴史文化に基づく関連性、テーマ、ストーリーによって一定のまとまりとして捉えたものです。まとまりを持って扱うことで、校正する文化財の魅力さをさらに引出す上、未指定文化財についても構成要素としての価値付けが可能となり、群を構成する複数の文化財総合的かつ一体的に保存し、活用することができます。

### 2 関連文化財群の設定の考え方

糸魚川市の歴史文化の特徴は、第3章で述べたように、東西日本の地質構造の境目となる糸魚川―静岡構造線が示す「ジオパークのまち」であり、日本列島形成史を物語る露頭や岩石などを観察でき、中でもヒスイ産出地を擁し「世界最古級のヒスイ文化発祥の地」として、縄文時代以来の遠隔地交易を支えてきたことです。列島が形成される過程には、激しい隆起など地殻変動による急峻な地形や崩れやすい一帯が生じ、それらが起こした「あらゆる災害を乗り越えてきたまち」として記念碑や、被害を克服しつつ残された遺産は、その教訓を今に伝えていきます。また、「境界が作り出す歴史文化の交流の地」である本市には、東西文化の接点のみならず、行き止まりの谷奥に収まった古い習俗慣習が息づき、独自に発展した芸能などの存在も見受けられます。

水深約2,000mの富山湾海底から新潟県最高峰2,766mの小蓮華山の頂までの中には、多様な動植物相が認められ、市域を縦横断して分布する山・川など、この大地を舞台に繰り広げられてきた自然と人の歴史を自然的・地理的な環境、社会的状況、歴史的背景、文化財の概要・特徴を踏まえた上で、歴史文化の特徴に基づき関連文化財群を設定します。



図 22 糸魚川市の概略図

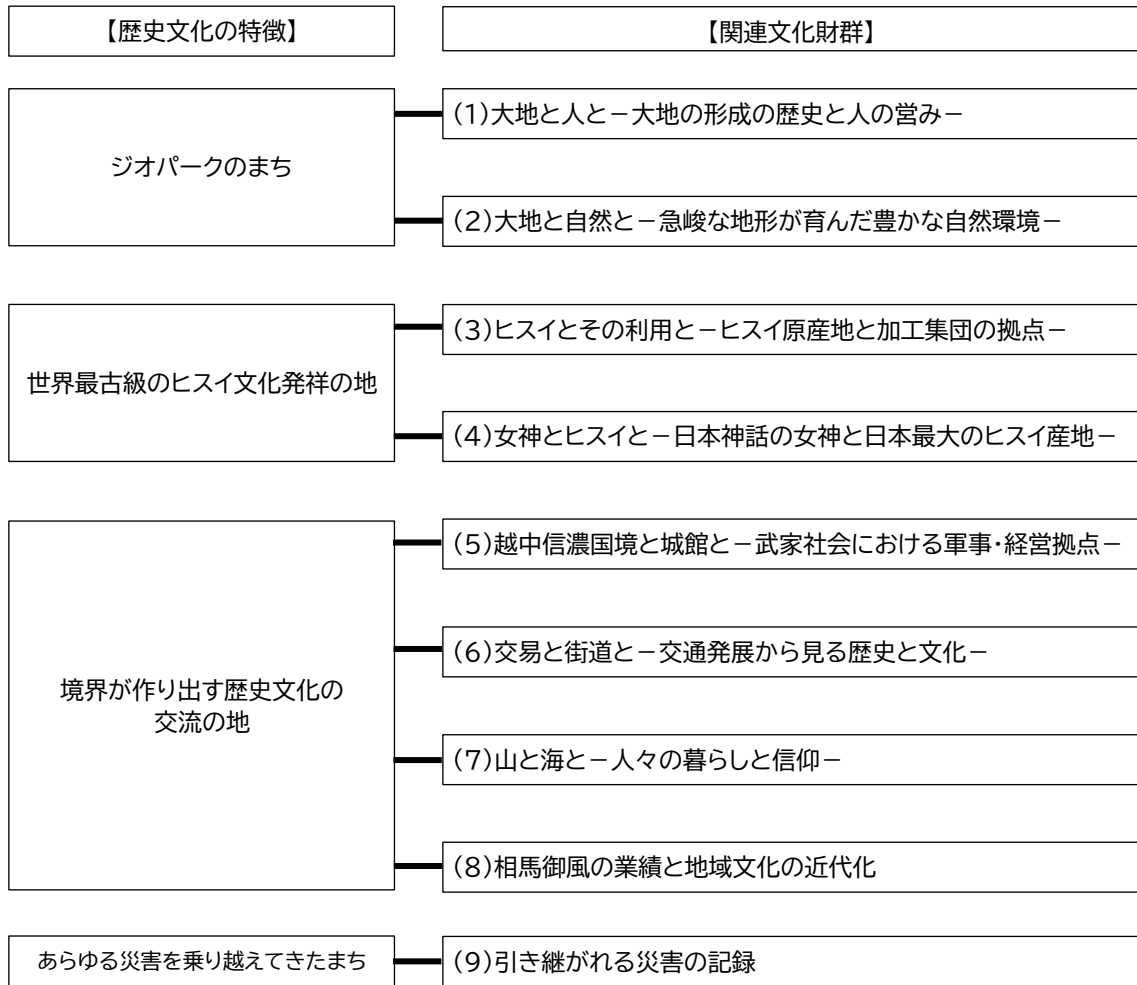


図 23 歴史文化の特徴からみる関連文化財群

### 3 関連文化財群とその課題・方針・措置

#### (1)大地と人と—大地の形成の歴史と人の営み—

##### ①ストーリー

地質学的に、糸魚川—静岡構造線を挟んで、西側は「西南日本」、東側は「東北日本」と呼びます。糸魚川の西南日本側には、古生代・中生代の地層や岩石が分布し、約5億年前のヒスイや、約3億年前の石灰岩からなる明星山、黒姫山などがあります。糸魚川の東北日本側（フォッサマグナ地域）には、フォッサマグナの海にたまった新生代の地層が分布し、約1,400万年前の泥岩から成る火打山や、約3,000～700年前の安山岩から成る焼山などがあります。

##### <豊富な鉱物と営み>

明星山と黒姫山一帯は石灰岩から成り、黒姫山一帯は大規模なドリーネが点在するカルスト地形で知られ、豊富な石灰岩は麓における化学工場やセメント工場の営みを支えています。

鉱物に関する産業遺跡としては、戦国時代に上杉謙信も採掘したと伝わる橋立金山、江戸時代～大正時代にあった蓮華鉱山とその製錬所跡、明治から昭和26（1951）年まで石炭の採掘が断続的に行われていた小滝炭鉱跡があり、本市の繁栄を支えていたことがうかがえます。

##### <地すべり地の営み>

海拔0m～約3,000mの山岳地が形成する地形は、多くの自然の恵みをもたらす一方で、その急峻な地形がゆえに地すべりを頻発させます。

しかし、こうした地形的・地質的な条件の下、こんたんね高谷根、谷根、見滝付近では、地すべりによってできたゆるやかな斜面に、たくさんの棚田が作られています。人々は、地すべりの斜面や湧き水、池などの自然を巧みに利用して生活しています。



地すべり地に作られた棚田

高浪の池は、赤禿山の地すべりでできた標高540mの白馬山麓国民休養地内にある池で、周辺にはレジャー施設が整備されています。

##### <自然を満喫>

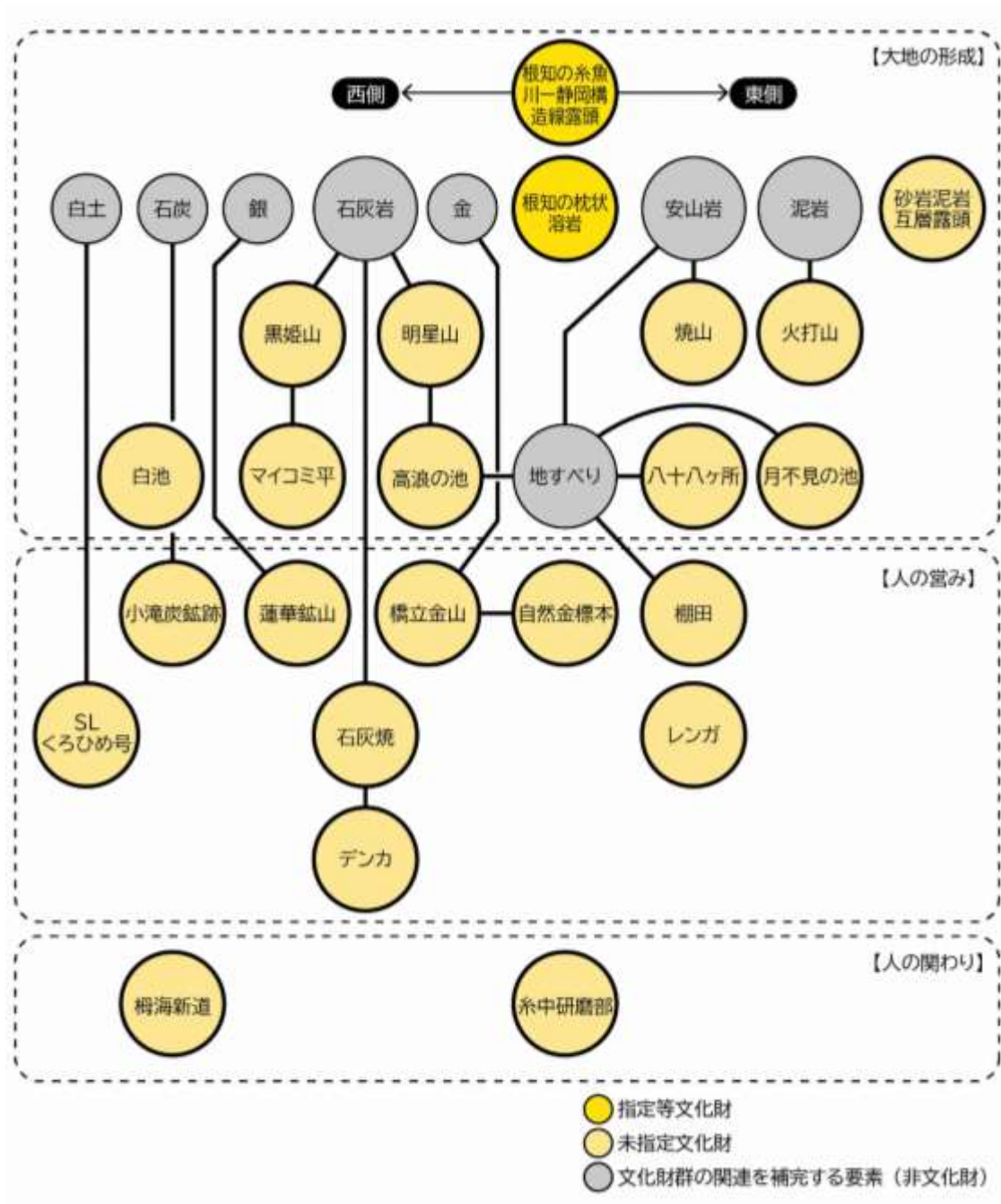
本市には、2つの国立公園（妙高戸隠連山、中部山岳）に代表される自然豊かな山岳地があります。大地の形成の歴史を体感できる多彩な山岳景観を有しており、登山者を魅了しています。また、明星山は、上級者向けのロッククライミングの名所となっています。

市民団体によって伐開された梅海新道は、海拔0m～約3,000mの植物の垂直分布と同時に、山々をつくる古生代～中生代の岩石の水平分布を見ることができる、日本海と北アルプスをつなぐ唯一の縦走路です。

## ②構成文化財

番号	名称	区分	指定等	概要
1	根知の糸魚川ー静岡構造線露頭	地質鉱物	国	東北日本と西南日本を地質構造上区別する大断層の露頭
2	根知の枕状溶岩	地質鉱物	市	国内最大規模の直径約 12mに達する放射状節理を示す枕状溶岩のほかに、同心円状節理を示す枕状溶岩、ハイアロクラスタイトなど海底火山活動を特徴付ける火山岩類を含む。
3	明星山	名勝地 地質鉱物	未指定	約 3 億年前のサンゴ礁が移動してできた石灰岩の山。小滝川ヒスイ峡にそり立つ南壁は、小滝川から約 450mもの高さがあり、上級者向けのロッククライミングの名所となっている。
4	雨飾山	名勝地	未指定	深田久弥の「日本百名山」の一座
5	黒姫山	名勝地	未指定	石灰岩からなる山体で、化石も含まれる。
6	月不見の池	名勝地	未指定	藤の花の名所
7	棚田	名勝地	未指定	地すべりによってできた緩やかな斜面に作られた棚田
8	越後八十八ヶ所	名勝地	未指定	地すべりが運んできた巨大な岩石が集まっているところで、自然に積み上げられた複雑な巨岩の間を通り抜けながら 88 体の石仏を巡ることができる。江戸時代の僧・玉瑞和尚の発願による。
9	砂岩泥岩互層露頭	地質鉱物	未指定	フォッサマグナの海を埋めた土砂で形成された。
10	橋立金山	遺跡 地質鉱物	未指定	戦国時代に上杉謙信も採掘したと伝わる金山。明治 30 年代に最盛期を迎えた。
11	蓮華鉱山	遺跡 地質鉱物	未指定	江戸末期に盛んに採掘された銀鉱山
12	小滝炭鉱跡	遺跡 地質鉱物	未指定	明治時代から昭和 26(1951)年まで赤禿山の北東斜面で石炭の採掘が断続的に行われていた。
13	石灰焼	無形民俗	未指定	現在の基幹産業となっている先駆的な鉱工業
14	SLくろひめ号	有形民俗	未指定	「くろひめ号」は昭和 31(1956)年製造で、産業用の国産最後の蒸気機関車とされており、全長 4・67m、幅 1・72m、高さ 2・55mで重さは約 5・1 トン。昭和 57(1982)年まで市内の工場での油の精製に使う鉱物「白土」運搬に使われ、工場閉鎖後は各所で展示され、現在は糸魚川駅に展示されている。
15	マイコミ平	地質鉱物	未指定	青海石灰岩から成る黒姫山の南部に位置する溶食凹地（ポリエ）。一帯には、ドリーネ、ポノール、竪型洞窟などのカルスト地形が発達。周辺の石灰岩地帯は、1,000mほど隆起した結果、特異な深度を持ち、数百メートルに及ぶ竪型洞窟ができた。
16	自然金標本	地質鉱物	未指定	国内で保有数の少ない橋立産出金の標本資料
17	梅海新道	名勝地	未指定	親不知に登山口。日本海の高尾山から朝日岳(2,418m)までを結ぶ全長約 27kmの北アルプス最北部の縦走路
18	高浪の池	名勝地	未指定	赤禿山の地すべりでできた標高 540mの白馬山麓国民休養地内にある池。周辺にはレジャー施設が整備されている。
19	白池	名勝地	未指定	白馬大池火山から出た溶岩流のくぼ地にできた池
20	デンカ	無形民俗	未指定	「石灰焼」以来の石灰岩を原料とする製造業
21	鉱業遺跡	遺跡	未指定	ほかに上路金山跡
22	糸魚川中学校研磨部	無形民俗	未指定	開校以来の伝統ある課外活動、ヒスイ等研磨技術
23	レンガ	建造物 美術工芸品	未指定	北陸本線の橋・隧道資材

③構成文化財関係図



#### ④課題

地形や地層露頭などの天然記念物から成る文化財群ですが、その多くは、詳細調査が行われていません。

多くの構成文化財は徒歩でなければ現地へ行くことができない立地にあり、現状では、周辺にも見学者を受け入れるための駐車場やトイレ、案内板等が整備されていません。





「マイコミ平」は、大変貴重な地質、地形資源であり、学術研究や野外学習の場として将来的に活用できることが望ましいと考えています。しかし、個人所有地が大部分を占める上、石灰石の採掘エリアの隣接地にあることから入山が規制されています。活用には所有者、鉱区設定者の理解、協力を得ることが必要です。

- 地形・地層露頭などの詳細調査が実施されていません。
- 見学や学習の促進を図るため、駐車場やトイレ、案内板等の整備が未実施です。
- 「マイコミ平」は活用にあたり、土地所有者及び隣接する鉱区設定者の協力体制が不十分です。

#### ⑤ 方針

- ・地質・地層露頭などの詳細調査を推進します。
- ・各構成要素の詳細調査を進め、糸魚川ジオパーク協議会や庁内関係部局、各種団体と連携しつつ保存を推進します。
- ・見学や学習の促進を図るため、駐車場やトイレなどの便益施設やアクセス道路、移動手段等の環境整備を推進します。
- ・「マイコミ平」の活用に向けた関係者との協議を進めます。

⑥措置

番号	措置名	内容	事業主体				計画期間(年度)				
			行政	所有者等	学校・団体・企業等	市民	R6	R7	R8	R9	R10
52	詳細調査の推進	地形や地層露頭などの未調査分野を把握・抽出し調査を推進	○	○		○					
53	保存活用計画の策定	糸魚川－静岡構造線露頭の適切な保存活用の方向性を示すための保存活用計画を策定	○	○		○					
54	受入環境整備の推進	便益施設・移動の利便性を向上させるため保存管理計画に基づく整備	○	○	○	○					
55	マイコミ平の活用に向けた関係者協議会の開催	マイコミ平の活用に向けて、関係者との協議を実施	○	○	○						

## (2)大地と自然と—急峻な地形が育んだ豊かな自然環境—

### ①ストーリー

本市は、市域を囲む山々の大半が、「妙高戸隠連山国立公園」「中部山岳国立公園」「白馬山麓県立自然公園」に指定されるなど、自然豊かな山岳地を有しています。また、海底も起伏に富み、海岸から比較的近距离で深海に至り、水深約 2,000mの富山湾海底から約 3,000mに迫る山並みまで 5,000mもの高低差を有する急峻な地形となっています。

これらの多様な地形に合わせて、ライチョウやオコジョなど比較的高地に生息する動物やコマクサなどの高山植物から、低地の動植物まで多様な動植物が生息、生育します。

### <特徴的な生息環境>

能生白山神社社叢は、海に面している北側は高さ約 90mの断崖で、対馬暖流の影響によってツバキ、アカガシ、シロダモ、シダ類などの暖地性植物が多生し、寒地性の植物も混生するとともに亜熱帯性の昆虫やシーボルトコギセルも生息しています。

クモマツマキチョウ・ヒメギフチョウは、本来は 1,000mから 3,000m級の高山帯に生息していますが、姫川溪谷（平岩周辺、標高約 300m）では比較的低山地帯に生息することから、蝶類の分布や生態を研究する上で注目されています。

ヒメハルゼミは、日本特産で本州から西南諸島に生息していますが、日本海側では、能生白山神社社叢が北限とされています。



ヒメハルゼミ

ミズバショウは、本州の中部以北の高山・湿地に自生していますが、糸魚川市の須沢のミズバショウ群生地は、標高約 5 m、海岸からは約 1 kmに位置し、全国的にも標高の低い自生地です。

稀少種ではないものの、ニシカワトンボとヒガシカワトンボ、エゾゼミとクマゼミも見られます。ゲンジボタルの点滅時間などの境目も本市付近にあると言われてはいますが、明確な事実確認には至っていません。

### <風土が育んだ特産品>

上刈みかんは、江戸時代後期から上刈地区の特産品として多く栽培されてきました。もともと温暖な気候を好む柑橘類であるため、日照時間が短く降雪地帯の日本海沿いでは栽培が難しいとされてきました。みかん栽培において、糸魚川地域は 1月と 2月のみ最低気温条件を下回るものの、沿岸を北上している対馬暖流の影響もあり、年間平均温度条件はほぼ満たしていました。そのため 1月、2月を



上刈みかんの冬囲い  
(みかん巻き)

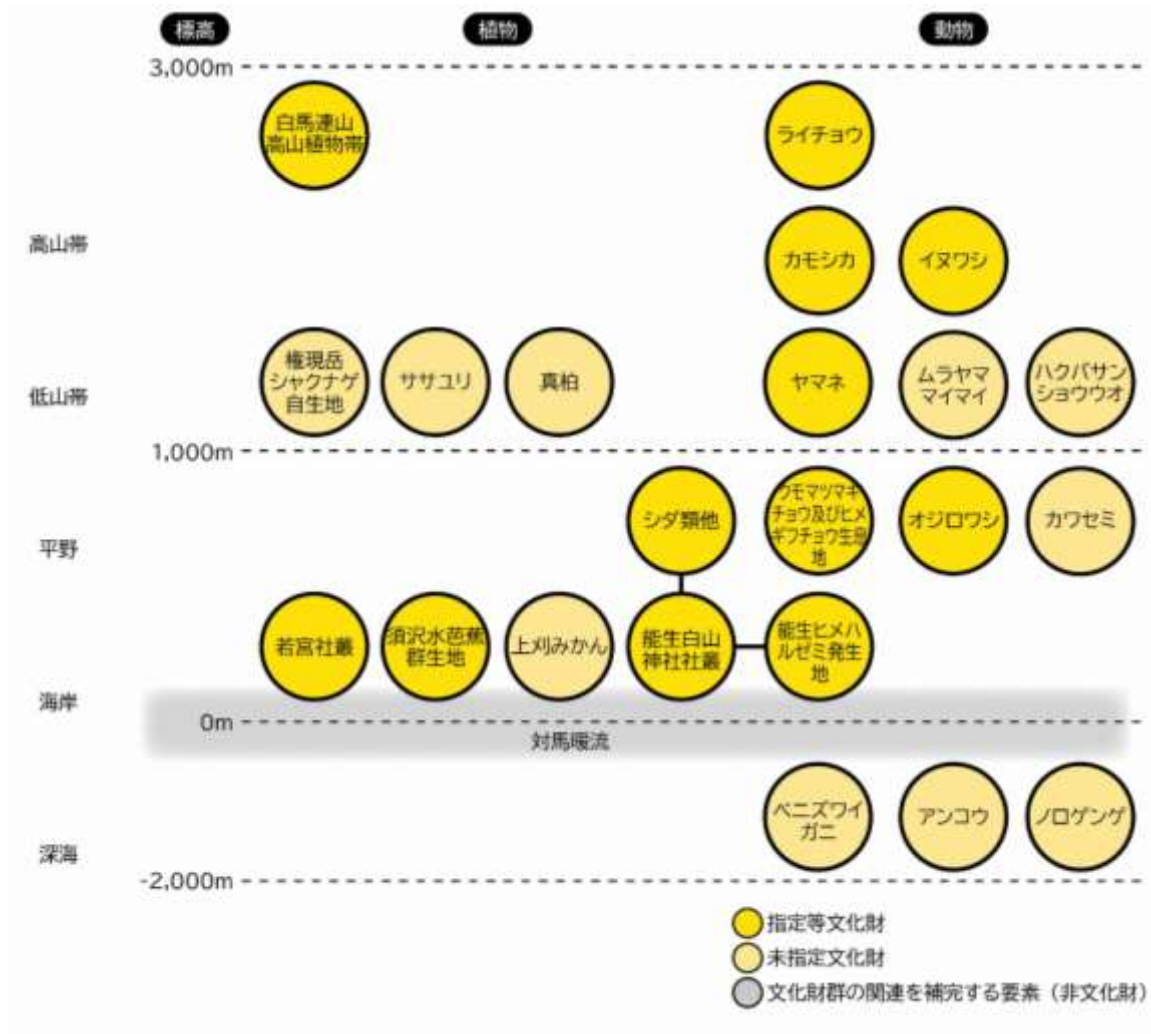
「みかん巻き（ほだ巻き）」といわれる冬囲いで強風や降雪から守ることで、栽培を可能にしました。なお、当時の糸魚川は、<sup>こうじ</sup>柑子みかん栽培の北限としても知られ、苗木は北前船によって石川の輪島、京都の宮津、島根の出雲にも運ばれたと伝えられているそうです。



②構成文化財

番号	名称	区分	指定等	概要
24	白馬連山高山植物帯	植物	国	特別天然記念物
25	ライチョウ	動物	国	特別天然記念物
26	カモシカ	動物	国	特別天然記念物
27	イヌワシ	動物	国	平成 22 年度以降定着
28	オジロワシ	動物	国	平成 22 年度以降定着
29	ヤマネ	動物	国	平成 22 年度以降定着
30	能生白山神社社叢	動物・植物	国	海に面している北側は高さ約 90mの断崖で、対馬暖流の影響によって暖地性樹種が多生し、寒地性の樹種も混生するとともに、亜熱帯性の昆虫や珍しい陸産貝類も生息
31	能生ヒメハルゼミ発生地	動物	国	日本海側では、能生白山神社の社叢が北限とされる。
32	クモツマキチョウ及びヒメギフチョウ生息地	動物	県	本来は、1,000m～3,000m級の高山帯に生息しているが、姫川渓谷(平岩周辺、標高約 300m)では比較的低山地帯に生息
33	オオバノハチジョウシダ・フモトシダ・シロヤマシダ・ヒカゲワラビ自生地、ヒメハルゼミ生息地	動物・植物	市	オオバノハチジョウシダ・フモトシダはワラビ科の暖地性シダ植物で、関東以西に自生するが、日本海側ではこの群生地が北限。シロヤマシダ・ヒカゲワラビも関東・北陸以西分布するが、新潟県や富山県内での生息はたいへん珍しく、ヒカゲワラビは絶滅危惧種Ⅱ類に指定
34	根知の枕状溶岩	地質鉱物	市	フォッサマグナの海の時代に海底火山噴火で噴出した溶岩露頭
35	若宮社叢	植物	市	暖地性のヤブツバキの大樹やタブの老木が混在して自生
36	須沢水芭蕉群生地	植物	市	標高約5m、海岸からは約1kmに位置し、全国的にも標高の低い自生地
37	権現岳シャクナゲ自生地	植物	未指定	鉾ヶ岳・権現岳自然環境保存地域。ホンシャクナゲは本州中部以西の山地に分布しているが、この地域は自然分布の北限
38	高浪の池	名勝地	未指定	白馬山麓国民休養地として、周辺を含めた整備が進行している
39	白蓮洞	地質鉱物	未指定	日本最深 513m
40	おうけつ 罅穴	地質鉱物	未指定	谷根川の河床に多くみられ、国内最大級のもの
41	不動滝(今井)	名勝地	未指定	70m三段の滝
42	ササユリ	植物	未指定	山地の草原や明るい森林に生育する日本固有のユリ。市の花
43	上刈みかん	植物	未指定	指定された木が枯死したため、指定解除
44	糸魚川真柏	植物	未指定	盆栽に使用されるミヤマビャクシン(深山柏槇)。盆栽愛好家の中では「真柏」という愛称で親しまれてきた。
45	アンコウ	動物	未指定	漁法の進歩と関係が深く、漁撈史を物語る魚
46	ベニズワイガニ	動物	未指定	漁法の進歩と関係が深く、漁撈史を物語る魚
47	ノロゲンゲ(幻魚)	動物	未指定	漁法の進歩と関係が深く、漁撈史を物語る魚
48	ムラヤママイマイ	動物	未指定	明星山(標高 1,187m)の石灰岩地だけに分布
49	ハクバサンショウウオ	動物	未指定	1975 年に発見され、1987 年に新種として発表。当地のほか長野県北安曇郡白馬村、富山県南部、岐阜県北部域の狭い地域に生息
50	カワセミ	動物	未指定	「空飛ぶ宝石」と呼ばれており、ヒスイ(翡翠)の名は、カワセミの色に由来して名付けられている。市の鳥
51	シーボルトコギセル	動物	未指定	主に西日本に分布する陸巻貝。偶然、北前船で運ばれ能生白山神社に分布する。

③構成文化財関係図



#### ④課題

乱獲による絶滅のおそれのある貴重な動植物については、持続可能な保全の体制が整っていません。

また、構成文化財群に含まれる文化財は、個々の理解は進んでいますが、糸魚川の地形や気候が育んだ多様な文化財として体系的に整理されていません。

未指定文化財である糸魚川真柏や上刈みかんについては、保存・活用に取り組み始められていますが、市民に浸透していません。

- 貴重な動植物の持続可能な保全体制が構築されていません。
- 糸魚川の地形や気候が育んだ多様な文化財の体系的な整理が行われていません。
- 糸魚川真柏や上刈みかんの保存・活用の取組支援が不十分です。

#### ⑤方針

- ・ 庁内関係部局、各種団体と連携しつつ、動植物などの貴重な文化財の保存を推進します。
- ・ 糸魚川の風土が育んだ、糸魚川ならではの多様な自然を全体として保存していくために、個々の要素を体系的に整理し、普及啓発を図ります。
- ・ 糸魚川真柏や上刈みかんなどの未指定文化財の保存・活用の取組を支援します。

#### ⑥措置

番号	措置名	内容	事業主体				計画期間(年度)				
			行政	所有者等	学校・団体・企業等	市民	R6	R7	R8	R9	R10
39 (再)	盗掘、不法採集を抑制する条例設置(再掲)	関係各課と連携し、盗掘、不法採集を抑制する条例の設置を検討	○	○		○					
56	糸魚川の自然の体系的な整理	調査不十分な分野を把握・抽出し関連文化財を整理	○			○					
57	糸魚川真柏プロジェクトの支援	技術の伝承や周知など人的な支援を行い、真柏の認知度向上及び保存・活用支援	○	○	○	○					
58	上刈みかん保存会への支援	技術の伝承や周知など人的な支援を行い、上刈みかんの認知度向上及び保存・活用支援	○	○	○	○					

### (3)ヒスイとその利用とーヒスイ原産地と加工集団の拠点ー

#### ①ストーリー

本市は、日本随一のヒスイ産出地であり、世界最古級のヒスイ文化発祥の地とも言われています。当地でのヒスイの加工は、縄文時代中期（約 5,000 年前）に盛んとなり、ヒスイの玉類（大珠）は長者ヶ原遺跡や寺地遺跡をはじめとしたヒスイ加工遺跡から列島各地に供給されました。その後、ヒスイの加工は古墳時代中期（5 世紀）まで継続されました。

約 6,500 年前の敲石（ハンマー）の石材として、ヒスイの利用が始まったと考えられます。縄文時代以来、道具としての利用に加え、「玉（ぎょく）」への加工が盛んとなり、以後古墳時代まで、その加工遺跡が形成されています。

本市がヒスイ産地であることから、原産地近くに立地する遺跡はヒスイ加工を裏付ける特徴的な出土品が豊富にあります。

#### <長者ヶ原遺跡>

長者ヶ原の集落では、姫川流域の石を用いて主に石斧を作り、各地に流通していました。加工の際には、硬く割れにくい性質を持つヒスイを敲石（ハンマー）として使っていたようです。石斧作りの技法はヒスイの加工にも応用され、縄文時代中期になると本格的に大珠が作られました。長者ヶ原遺跡は、これらの加工品を各地に供給する拠点として栄えました。



長者ヶ原遺跡

長者ヶ原遺跡から出土した土器の中には、地元や周辺地域のものとは器形や文様などが異なる土器もあります。これらは遠方から持ち込まれた土器と考えられ、交流範囲の広さを物語っています。

#### <寺地遺跡>

長者ヶ原遺跡と同様、縄文時代中期の玉作・磨製石斧生産遺跡であるとともに、縄文時代後期・晩期の祭祀の様相を示す配石遺構、木柱列などが発見されました。また、平成 25（2013）年には、縄文時代晩期（約 3,000 年前）の丸木舟の一部が発見されました。新潟県内で縄文時代の丸木舟の発見は 2 例目です。大きさも 6 m 以上の大型で海での利用も想定されることから、ヒスイの運搬に使用された可能性もあります。

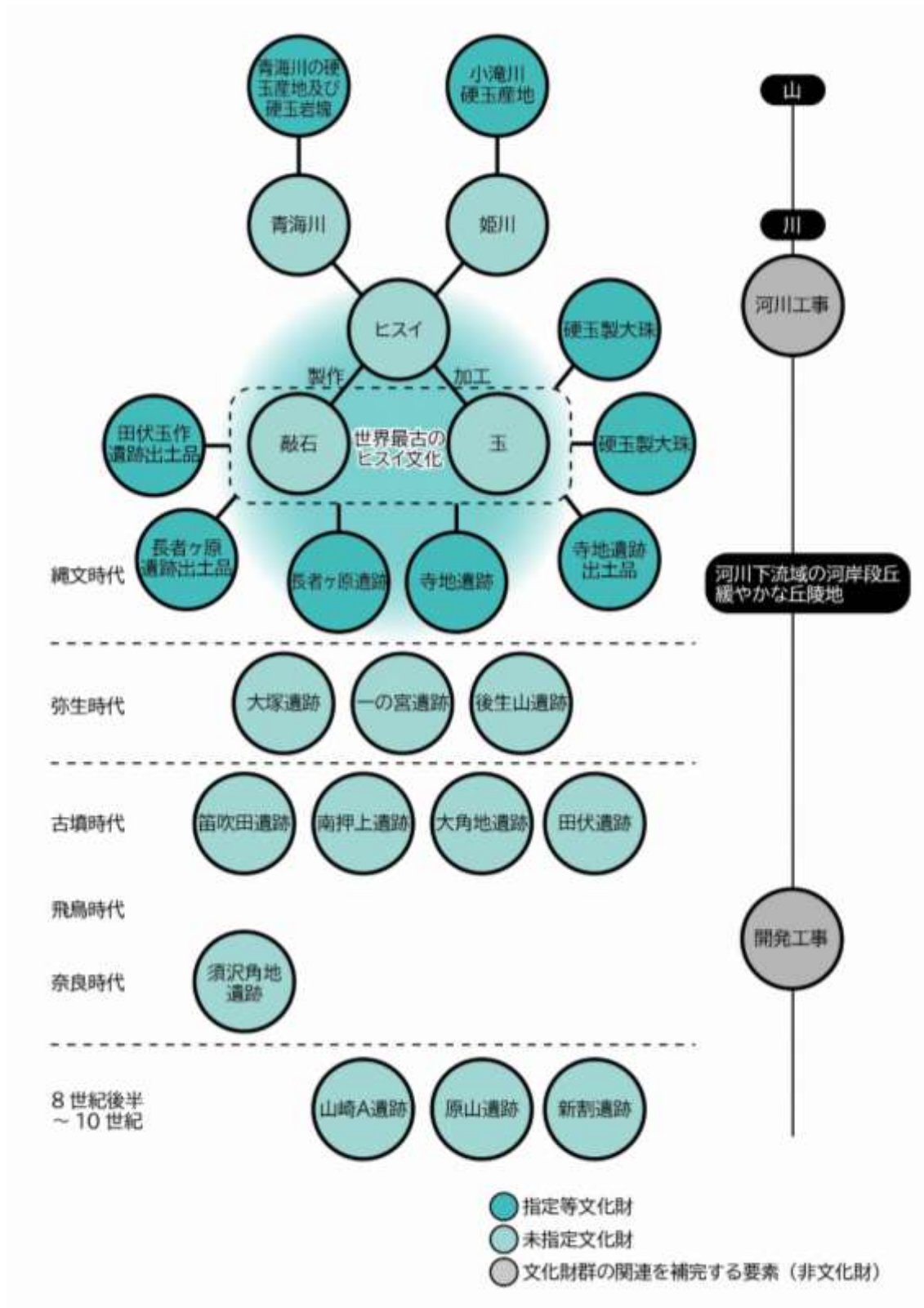


寺地遺跡 配石遺構

②構成文化財

番号	名称	区分	指定等	概要
52	小滝川硬玉産地	地質鉱物	国	河床には硬玉の巨大な転石が散在している。
53	青海川の硬玉産地及び硬玉岩塊	地質鉱物	国	上流の橋立集落に近い河床には、蛇紋岩の大露頭があり、これに接して点在する含ヒスイ曹長岩塊に緑色又は淡紫色の縞状を成す硬玉が含まれる。
54	寺地遺跡	遺跡	国・市	縄文時代中期と晩期におけるヒスイの玉製作の実態や特殊な祭祀の形態をうかがうことのできる遺跡
55	長者ヶ原遺跡	遺跡	国	縄文時代中期を主体とする集落跡。遺跡の範囲は約 14 万㎡、北陸地方屈指の規模を誇る環状集落
56	大角地遺跡	遺跡	未指定	最古のヒスイ製敲石が出土
57	笛吹田遺跡	遺跡	未指定	古墳時代を主体とした玉作集落跡
58	六反田南遺跡	遺跡	未指定	石製製造品の良好な生産資料出土
59	一の宮遺跡	遺跡	未指定	弥生時代集落跡
60	後生山遺跡	遺跡	未指定	弥生時代集落跡
61	大塚遺跡	遺跡	未指定	弥生時代集落跡
62	前波遺跡	遺跡	未指定	古墳時代前期の玉作遺跡
63	南押上遺跡	遺跡	未指定	ヒスイ製勾玉・ <sup>なつめだま</sup> 棗玉の良好な工程品出土
64	横マクリ遺跡	遺跡	未指定	古墳時代前期の玉作遺跡
65	ヒスイ原産地立地遺跡出土品	遺跡	未指定	数の多少にかかわらず、ヒスイ原石や石屑等が出土する当地域特有の遺跡からの出土資料
66	須沢角地遺跡	遺跡	未指定	この地域では稀有の奈良時代集落跡
67	西角地古窯跡	遺跡	未指定	<sup>須恵器</sup> 窯跡
68	山崎A遺跡	遺跡	未指定	大型掘立柱建物群と土師器杯多量廃棄土坑
69	前波南遺跡	遺跡	未指定	出雲真山木簡出土
70	館野遺跡	遺跡	未指定	土師器杯の多量廃棄、塊状炭化物出土
71	北平遺跡	遺跡	未指定	<sup>せきかまるとも</sup> 石銚丸轆2点出土
72	新割遺跡	遺跡	未指定	平安時代集落跡
73	原山遺跡	遺跡	未指定	平安時代集落跡
74	寺地遺跡出土品	美術工芸品	県	縄文時代晩期のヒスイ製玉類製作資料等
75	田伏玉作遺跡出土品	美術工芸品	県	古墳時代中期・後期の土器、玉作資料
76	長者ヶ原出土品	美術工芸品	市	縄文時代中期の土器群、大珠製作資料、土偶などから成る。
77	硬玉製大珠	美術工芸品	市	当地が生産地であったことを示す稀少な完成品
78	王朝国家期遺跡出土品(製塩土器・石銚・八稜鏡・木簡)	美術工芸品	未指定	ヒスイが忘れ去られた以降の文物

③構成文化財関係図



#### ④課題

河川でのヒスイの盗掘が発生していますが、抑止効果のある対策が立てにくいのが現状です。県の河川工事においては、ヒスイの保存のための特記仕様書がありますが、県、関係機関と連携して保存を図る必要があります。

海岸では、ヒスイが観察でき、観光資源としても活用されています。今後も、市民や観光客に対して、ヒスイの保護について周知徹底する必要があります。

「青海川の硬玉産地及び硬玉岩塊」は、貴重な原石が間近に見て触ることができることから、学校教育のジオパーク学習や、市民等を対象としたジオパーク講座の場として活用され、また、地質鉱物の専門家が多く来訪しています。今後は、保存管理計画に基づいた保存整備を進め、教育、研究の場として最大限に活用できるよう、解説板やトイレ等便益施設の整備が必要です。

遺跡では、永久保存が決まった史跡以外にも、沖積平野部には未調査で埋没し、範囲が明確になっていない場合が数多くあるため、開発に対する把握が完全には行われていません。また、弥生時代・古墳時代の玉作遺跡の多くは、沖積平野部に立地し、宅地開発の対象となる場合があり、良好な遺存状況を保てなくなってしまうことも懸念されます。また、開発行為との調整も難しい局面があり、理解を求める努力が必要となります。

長者ヶ原遺跡は、平成8年度から12年度までにわたって、史跡整備事業の対象となり、史跡公園として供用されています。しかし、復元遺構は自然にさらされることで、たびたび修繕が必要となることから、今後は個別計画を策定し、新たな調査成果を活かした再整備が求められます。

寺地遺跡は、史跡指定範囲南側への広がり認められていることから、今後、個別計画策定後、追加調査等を実施し、遺跡の内容を確認する必要があります。

縄文時代の寺地遺跡出土品と古墳時代の田伏玉作遺跡出土品が新潟県指定有形文化財となっていることから、長者ヶ原遺跡出土品のヒスイ関係資料の保存と活用への見通しを立てることも急務となっています。

また、奈良時代以降、ヒスイは歴史から姿を消したとも言われており、これ以降の歴史の解明も待たれます。

- 河川のヒスイの保存を図るため県、関係機関との連携が不十分です。
- 海岸のヒスイの転石について、市民や観光客に対する保護についての周知が不足しています。
- 「青海川の硬玉産地及び硬玉岩塊」は、教育、研究の場として活用できるよう整備が未実施です。
- 未調査の遺跡について、開発行為の把握・調整が不十分です。
- 沖積平野部に立地する遺跡について、土木工事の原因者への周知が不足しています。
- 史跡長者ヶ原遺跡・寺地遺跡の個別計画策定による、追加調査と適切な保存・活用が不十分です。
- 奈良時代以降のヒスイが忘れ去られた後の本市の歴史の周知が不十分です。

### ⑤方針

- ・関係機関、庁内関係部局、市民と連携しつつ、地域総がかりでヒスイの保存を推進します。
- ・ヒスイの保護について、市民や観光客に対する周知を推進します。
- ・「青海川の硬玉産地及び硬玉岩塊」の整備を推進します。
- ・未調査の遺跡について、開発行為の把握・調整を推進します。
- ・ヒスイ加工遺跡の追加調査を実施し、ヒスイ利用の実態の更なる解明を進めます。
- ・ヒスイが忘れ去られた後の歴史の広報を推進します。

### ⑥措置

番号	措置名	内容	事業主体				計画期間(年度)				
			行政	所有者等	学校・団体・企業等	市民	R6	R7	R8	R9	R10
40 (再)	ヒスイレスキューの制度化(再掲)	指定範囲外でのヒスイ盗掘防止の観点から、レスキュー制度化を促進	○			○					
59	持続可能なヒスイ原産地の実現	保護のルールを明確化し周知	○			○					
60	青海川保存管理計画の推進	見学者の受入れのための解説板やトイレを整備	○	○							
61	解説板の設置(青海川の硬玉産地)	整備計画策定を進めるとともに、現地の整備	○								
62	埋蔵文化財の建築確認申請時での把握	関係課と連携の上、遺跡内での土木工事を早期に把握し、事業者と調整	○	○	○	○					
63	市内業者に対する遺跡の周知徹底	遺跡での土木工事手続について広く周知し、事業者と調整	○		○						
64	開発関係部局との連携の強化	計画策定時の通知を確実に実施	○								
65	史跡長者ヶ原遺跡の保存活用計画策定	保存活用計画の策定を推進	○								
66	史跡寺地遺跡保存活用計画の策定	保存活用計画の策定を推進	○								
67	ヒスイ衰退後資料の活用	玉作り衰退後の資料のデジタル化や広報を行う。	○	○							



#### (4)女神とヒスイと—日本神話の女神と日本最大のヒスイ産地—

##### ①ストーリー

本市には、『古事記』や『出雲国風土記』などに所縁のある伝説や伝承地が多く残されています。その中でも、当地域を治めたとされる奴奈川姫やヒスイに関係するものが多く語り継がれています。

##### <奴奈川姫>

奴奈川姫は、『古事記』や『出雲国風土記』などの古代文献に登場し、高志国の一部でヒスイ製勾玉を盛んに生産した現在の新潟県南西部を治めたとされる女王です。

『古事記』では「出雲国（島根県）の八千矛命（おおくにぬしのみこと）  
（大国主命）が沼河比売（＝ぬなかわひめ）に求婚に来た」とあり、また、『出雲国風土記』では「天の下造らしし大神（大国主命）が奴奈宜波比売（＝ぬなかわひめ）の命と結婚して御穂須々美命（みほすすみ）を生み、この神が美保に鎮座している」と記されています。

あくまでも伝説ですが、それでも奴奈川姫を祭る神社が糸魚川・西頸城地方に多く、『万葉集』の記述にある「沼名河の底なる玉…」との関係を見ても、奴奈川姫はこの地方に深くかかわっているとと言えます。



奴奈川姫の産所と  
伝えられる「岩井口」

##### <奴奈川姫とヒスイ>

奴奈川姫とヒスイの関係は、伝説を語る上で重要です。本市は古くからヒスイの産地として知られています。ヒスイの玉は祭祀に用いられるほか、権力者への贈り物や、諸国との交易にも利用されていました。遠く縄文時代から続いた本市のヒスイ加工の歴史は、一度は歴史から姿を消すこととなりますが、その理由は謎に包まれたままです。



奴奈川姫の住んだと  
伝えられる「福来口」

##### <出雲国とヒスイ>

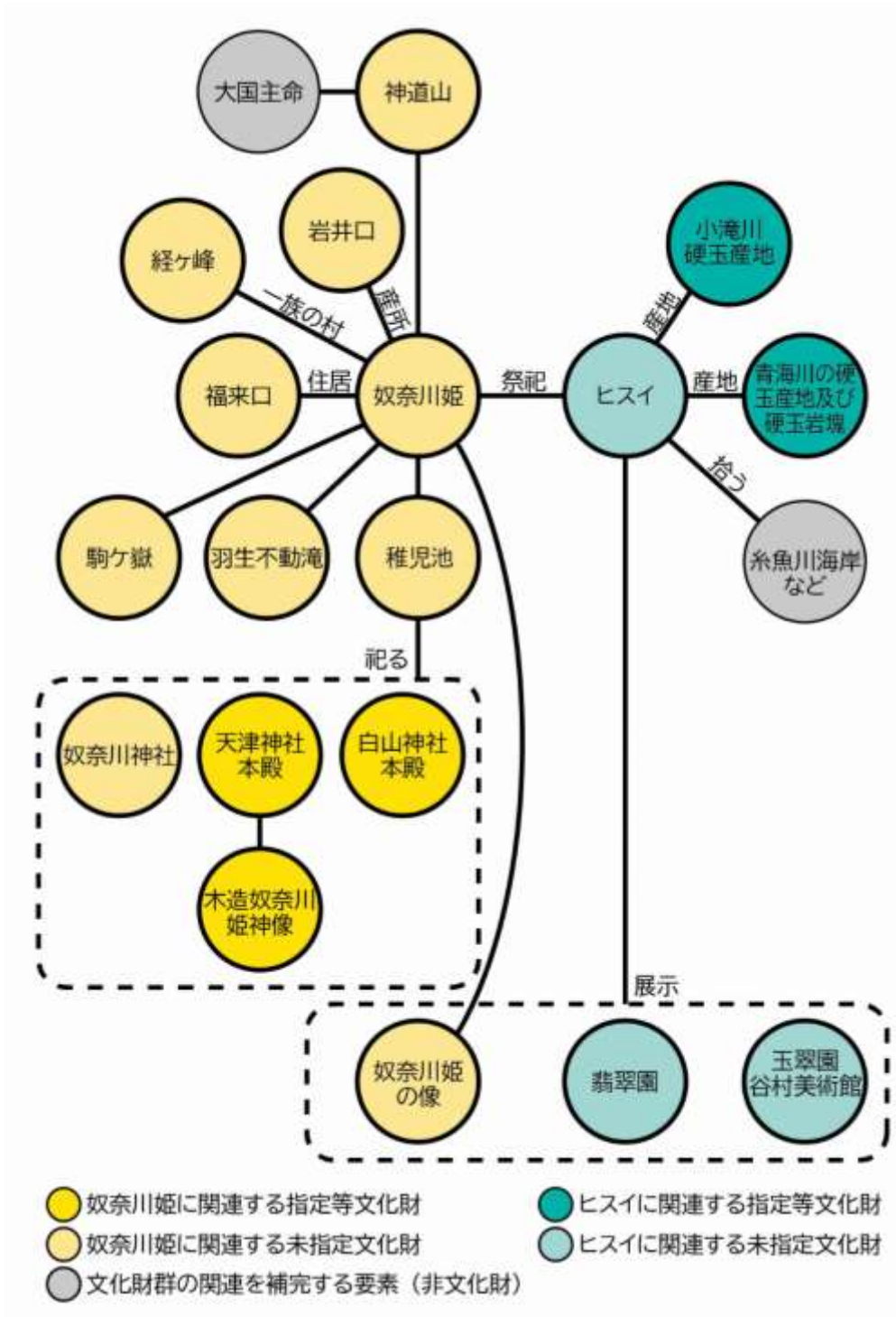
大国主命が治める出雲国は、日本海側の多くの国と交流があり、それらは、いずれも交通の要衝でした。島根県には「古志」という地名もあり、高志の国から来た人々が治水を行ったという話も伝わっています。出雲国と高志国に密接な交流があったとすると、弥生時代末期から古墳時代中期まで、両者の関係とはまさに「玉つくり」の関係と言えます。

古代の人々にとって力を示す祭祀に欠かせなかった玉、なかでも、ヒスイの玉は特に貴重で重要視されていました。当時大きな勢力を誇った出雲国が、ヒスイを求めて高志国まで手を伸ばしたのは想像に難くありません。

②構成文化財

番号	名称	区分	指定等	概要
79	白山神社本殿	建造物	国	古代奴奈川族を治めていた奴奈川姫を祀って産土神社としたのが始まりと言われている。
80	天津神社本殿	建造物	市	宮大工相馬家の手による建築
81	木造奴奈川姫神像	美術工芸品	県	天津神社境内の別社、奴奈川神社に安置されている。檜材の一木造で、彩色が施され、双髻を結び、髪は両肩に垂れ、拱手して座っている。
82	小滝川硬玉産地	地質鉱物	国	ヒスイ原産地(再掲)
83	青海川の硬玉産地及び硬玉岩塊	地質鉱物	国	ヒスイ原産地(再掲)
84	能生白山神社	建造物、遺跡	未指定	奴奈川姫を祀る神社、奥社跡
85	天津神社	建造物、遺跡	未指定	奴奈川姫を祀る神社
86	田伏奴奈川神社	建造物、遺跡	未指定	奴奈川姫と八千矛命(やちほこのみこと=大国主命)がともに祀られている。
87	岩井口(奴奈川姫の産所)	名勝地	未指定	水がこんこんと流れ出ている。奴奈川姫の産所と伝えられる。
88	福来口	名勝地	未指定	奴奈川姫が住んでいたとされる大鍾乳洞。機(はた)を織っては、洞穴から流れ出る川でその布をさらした。それでこの川を「布川」という。
89	稚児池	名勝地	未指定	奴奈川姫伝承(伝説)地。奴奈川姫が亡くなったとされる場所。
90	経ヶ峰	名勝地	未指定	太古には奴奈川姫の一族が住み、村の形をしていた。その峰の頂には神に捧げた金幣(きんぺい)が埋められてあり、毎夜光を放っていたので沖の漁師の標(しるし)となったという。
91	駒ヶ嶽	名勝地	未指定	奴奈川姫が駒ヶ嶽の麓に居られた時、大国主命が尋ねて来た。門口に男と女の声が出た。男は土地の神であった。二人は賭をし、大国主は牛、土地の神は白い駒に乗り、跳んだ。土地の神は早かったが、駒は動かず石に化してしまった。それで大国主の牛が先に洞穴へ着いた。
92	不動滝(羽生)	名勝地	未指定	昔平牛の山に、奴奈川姫がおいでになり、火の玉となってこの滝に来て、目を洗って眼病を治したという。後にある武士が姫を祀るために、一振の刀を埋め、不動明王を安置したと言う。
93	神道山	名勝地	未指定	大国主命が奴奈川姫に求婚した際に通った道として語り継がれている。
94	翡翠園・玉翠園	名勝地	未指定	いずれも中根金作の設計監督による日本庭園。翡翠園は回遊式で、正面には70トンのヒスイ原石(コバルトヒスイ)がある。玉翠園は観賞式で、館内にはヒスイ製のテーブルがある。
95	奴奈川姫の像	美術工芸品	未指定	現代ブロンズ彫刻作品

③構成文化財関係図



#### ④課題

奴奈川姫に関する伝承は多くはあるものの、神話と史実が混同されて語られているのが現状です。これは、伝承地などが多い割には歴史資料が貧弱なため、調査・研究が進んでいないからです。本市は、シティプロモーション戦略として、「石のまち」プロジェクトを展開していますが、この取組に奥行きを持たせ、更に発展させるためにも、奴奈川姫伝説と歴史資料の関係性の整理が必要です。

岩井口や福来口、稚児池などの伝承地は、未指定文化財のため、自然の風化や侵食が懸念されますが、現状では把握や経過観察のモニタリングを行う体制は整っていません。

令和元（2019）年に設立した「神話の縁結びかみがたりネットワーク」があります。これは、奴奈川姫と大国主命と、その間に生まれた建御名方神に所縁のある、本市と島根県出雲市、長野県諏訪市の3市が連携し、交流人口の拡大を目的に設立されたものです。現在、各市の観光情報の発信、相互の人的交流などが端緒に就いたところですが、今後も活動を推進していく必要があります。

- 奴奈川姫伝説と歴史資料の関係性の整理が行われていません。
- 伝承地の現状把握や風化・浸食のモニタリングが行われていません。
- 「神話の縁結びかみがたりネットワーク」の活動が停滞しています。

#### ⑤方針

- ・ 奴奈川姫に関する歴史資料の蓄積を進め、調査・研究を推進します。
- ・ 伝承地の現状の把握を行い、モニタリングを実施します。
- ・ 観光部局と連携して「神話の縁結びかみがたりネットワーク」の地域間交流やイベントの開催を促進します。

#### ⑥措置

番号	措置名	内容	事業主体				計画期間(年度)				
			行政	所有者等	学校・団体・企業等	市民	R6	R7	R8	R9	R10
68	歴史資料の蓄積と調査・研究の推進	奴奈川姫の伝説に関する歴史資料を蓄積し、調査・研究を推進	○			○					
69	伝承地の現状把握と保存の実施	劣化状況等を把握するために定期的なパトロール、継続的なモニタリングを実施	○		○	○					
70	地域間交流の推進	島根県出雲市、長野県諏訪市との地域間交流を促進	○	○	○	○					
71	婚活イベントの開催	大国主命が奴奈川姫に求婚したラブロマンスにまつわる婚活イベントを開催	○		○	○					
72	翡翠婚ツアーの実施	関連文化財群「女神とヒスイと」の構成文化財を巡る結婚35周年の「翡翠婚ツアー」を実施	○		○	○					

## (5)越中信濃国境と城館と—武家社会における軍事・経営拠点—

### ①ストーリー

中世・京都を中心とした公家政権と鎌倉に拠点があった武家政権は、東・西日本の二極化をもたらすこととなりましたが、全国的に戦乱が続いた群雄割拠の時代は、本市には国境の防衛のため多くの軍事的・政治的拠点として城・館の整備がなされました。

#### <越中国境>

越中との国境には山城の勝山城がありました。日本海に切り立った勝山は、眼下に北陸道を監視できる要所にあり、上杉謙信の時代には、春日山城を中心とする越後国の西の要城として、越中勢を防備する重要な役割を成していました。越中をはじめとした西方の動きは、情報を伝える狼煙により、この城を起点として、不動山城、徳合城等を経て、春日山城へ伝えられました。



勝山城跡

上杉景勝の時代には、その後の江戸時代に記された軍記物によると、天正 13 (1585) 年に越中の<sup>きつさなりまさ</sup>佐々成政を降伏させた秀吉が、わずかな兵を率いて勝山城に現れ、景勝との会見を申し入れました。知らせを受けた景勝と直江兼続主従が馬で駆けつけ、この勝山城の地で上杉景勝、直江兼続、豊臣秀吉、石田三成の 4 人での会見が実現したとの伝説があります。

#### <信濃国境>

信濃との国境には同じく山城の根知城がありました。現在、遺構により要害堅固な様子がうかがえるこの城は、村上義清が城主の時代に整備されたと言われています。義清は信濃の<sup>かつらお</sup>葛尾城主でしたが、甲斐の武田信玄に敗れ、天文 22 (1553) 年上杉謙信に援助を求めて来ました。永禄 8 (1565) 年、謙信は義清を根知城主に任命し、根知城の守りを固めました。



根知城跡と根小屋集落

上杉景勝の時代には同盟関係にあった武田勝頼の家来が根知城勤番を務めました。景勝の会津移封後、根知城に入った堀清重は、慶長 4 (1599) 年の上杉遺民一揆の際に根知城を廃し、一の宮に平城の清崎城を築いたと言われています。

信濃との往来には松本街道が利用され、上杉謙信が武田信玄に塩を送ったとされる故事があります。

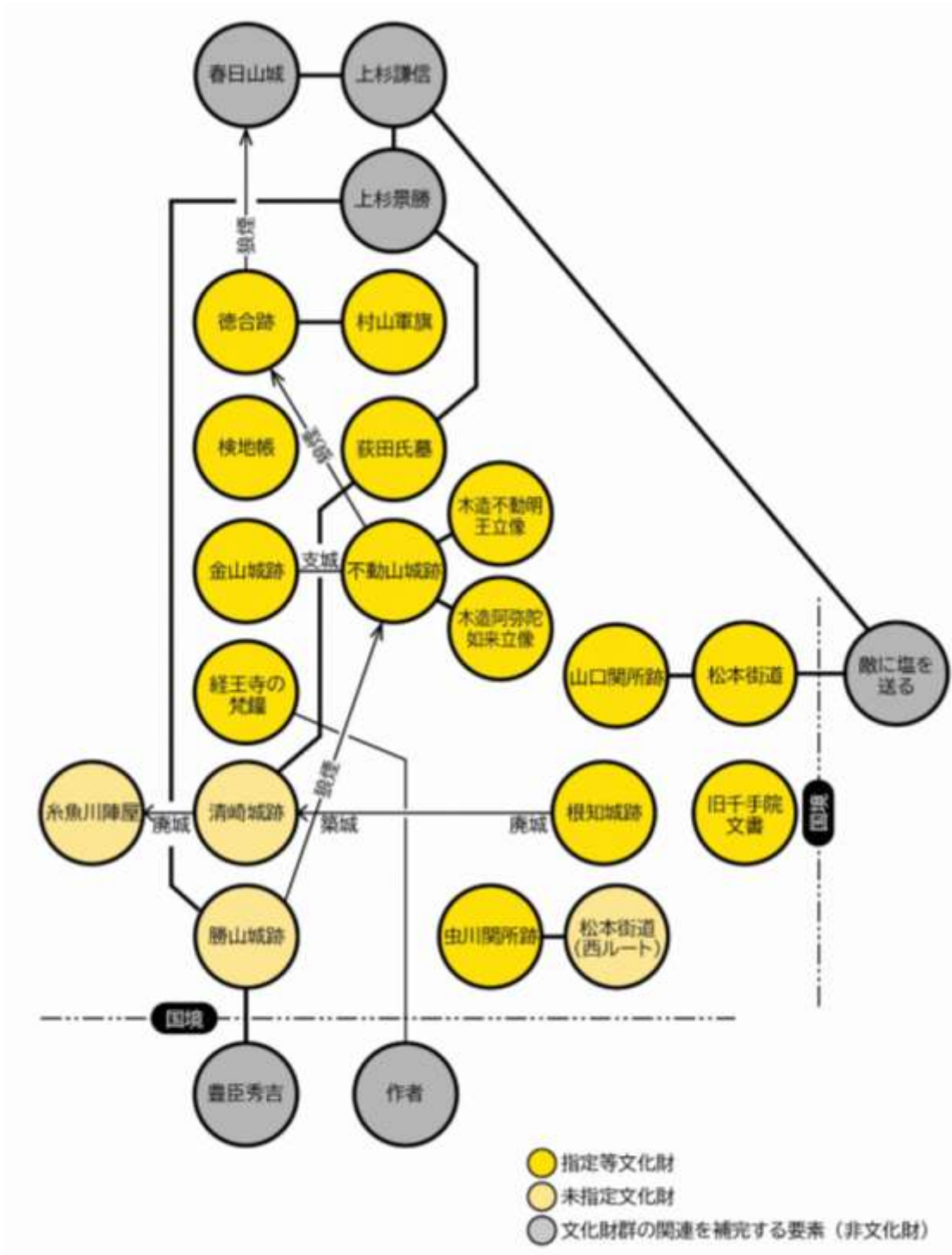
#### <山城の館>

本市の城跡は主に中世の山城が多く残されています。根知城や金山城では砦が築かれた山の麓に館跡があったことが伝承や実際の発掘調査で判明していますが、詳細な発掘調査が行われていないため、その詳細は不明となっています。

## ②構成文化財

番号	名称	区分	指定等	概要
96	根知城跡	遺跡	県	信越国境防衛のために築かれた大規模な遺構
97	不動山城跡	遺跡	市	越後府中背後の守りのため、守護職一門が在城
98	金山城跡	遺跡	市	海岸平野部の眺望の良い尾根上に立地する山城
99	徳合城跡	遺跡	市	戦国大名本拠の春日山城を守備固める拠点
100	村山軍旗	美術工芸品	市	徳合城主村上氏の旗
101	根知山寺の延年	無形民俗	国	室町時代の寺社法会の名残をとどめる芸能
102	旧千手院文書	美術工芸品	市	戦国時代以来の領主に関する書状
103	虫川関所跡	遺跡	市	内陸部と海岸部の交通要衝に設置された関門
104	山口関所跡	遺跡	市	内陸部と海岸部の交通要衝に設置された関門
105	経王寺の梵鐘	美術工芸品	県	糸井河氏が寄進した釣鐘
106	荻田氏墓	建造物	市	清崎城代を務めた家老職三代の墓塔
107	神宮寺銅造薬師如来坐像	美術工芸品	市	当地で铸造された可能性が高い。
108	木造不動明王立像	美術工芸品	市	不動山城の隆盛を今に伝える。
109	木造釈迦如来坐像(禅雄寺)	美術工芸品	市	不動山城の隆盛を今に伝える。
110	木造釈迦如来坐像(耕文寺)	美術工芸品	市	不動山脚下にあった禅宗寺院に伝わったとされる。不動山城の隆盛を今に伝える。
111	松本街道	遺跡	国	「敵に塩を送る故事」と関連深い史跡
112	検地帳	美術工芸品	市・未指定	慶長2年・同3年のものが比較的残る。
113	勝山城跡	遺跡	未指定	越中国境の防衛拠点
114	清崎城跡	遺跡	未指定	近世一円支配の政治拠点
115	粟倉城跡	遺跡	未指定	山間部の山城跡
116	立ノ内遺跡	遺跡	未指定	領主の館跡。金山城の館跡とされる。
117	石塔群	建造物	未指定	古い年号の刻まれたものは市指定文化財
118	五輪塔	建造物	未指定	田伏薬師堂の2基は14世紀代
119	伴家文書	美術工芸品	未指定	中世文書を含む大肝煎役の保有
120	糸魚川藩陣屋跡	遺跡	未指定	市街地化して、遺構未確認
121	清崎御殿跡	遺跡	未指定	幕末に糸魚川藩が国元に造営した政治拠点
122	直指院	建造物	未指定	糸魚川町の開基にかかわる古刹。糸魚川藩関連資料あり。
123	台場跡	遺跡	未指定	糸魚川藩と高田藩が異国船打払いのため設置した施設

③構成文化財関係図



#### ④課題

城跡に関する館跡は、伝承などで判明している場所もありますが、詳細な発掘調査が行われておらず、実態が分かっていません。

城館の歴史的背景を伝える歴史資料には個人所有で未指定の資料もあり、代替わりなどで、その保存・活用が進んでいません。

現状では、全ての城跡に保存団体等がある訳ではなく、保存団体が組織されていても高齢化や人材不足のために維持管理が困難となっています。

また、城跡のほとんどは山中にあり、見学者は少なく、上手く活用されていない現状です。

- 城跡に関する詳細調査が不十分です。
- 城館の歴史的背景を伝える歴史資料の保存・活用が行われていません。
- 保存団体の高齢化や人材不足で維持管理が不十分です。
- 山城の見学者増加に向けた活用の推進が行われていません。

#### ⑤方針

- ・城跡に関する詳細調査を推進します。
- ・城跡やその歴史的背景を伝える資料展示公開施設やデジタルアーカイブ化を推進し、周知・理解を促進します。
- ・保存団体への人的な支援を促進します。
- ・山城の周知を行い、活用を推進します。

#### ⑥措置

番号	措置名	内容	事業主体				計画期間(年度)				
			行政	所有者等	学校・団体・企業等	市民	R6	R7	R8	R9	R10
73	根知城跡の詳細調査の推進	市民や地域と協力して根知城跡の詳細調査を推進	○	○	○	○	→				
74	資料展示公開施設の検討	城跡やその歴史的背景を伝える資料展示公開施設の整備に向けた検討を実施	○	○					→		
75	デジタルアーカイブの推進	今後維持管理が困難となる未指定文化財を対象としてデジタルアーカイブ化を推進	○	○	○	○			→		
76	保存団体への支援	市民や地域の参加による保存団体への支援を促進	○		○		→				
77	周遊イベント開催	ハイキング等での活用	○		○	○		→			



## (6)交易と街道と—交通発展から見る歴史と文化—

### ①ストーリー

近代化以前の物資流通は険阻な悪路を人の背や牛馬による運送に頼っていたものの、本市は陸と海の結節点でもあり、物資の集積や商いの発達によって、町は賑わいを見せました。

#### <市振・親不知>

江戸時代になると街道の整備が進み、寛永年間(1624~1644年)初期には越中との境に近い市振宿の西端に高田藩によって関所が設けられました。前田家(加賀藩、富山藩、大聖寺藩)の参勤交代のルートでもあり、北国一の難所とされた親不知を控えたことから、周辺には市振、外波、歌、青海といった宿場が賑わい、元禄2(1689)年7月12日に能生の「玉や」に泊まった松尾芭蕉一行も、糸魚川で休憩を取り、親不知を越えて市振に泊まっています。

こうした交通の要衝としての本市の歴史は、今日も変わりません。親不知は西と東を結ぶ日本海側の全ての交通路がここを通り、波打際の道を第1世代とすると、明治の中腹を掘削した道は第2世代、昭和のトンネルや洞門を駆使した現在の一般国道8号は第3世代、波打際の高架や山中のトンネルを通る北陸自動車道は第4世代となります。さらに鉄道では、蒸気機関車、電車、北陸新幹線の3世代の線路がこの付近を貫いています。



親不知

#### <山の間>

根知谷をはじめとする姫川谷は、古くから海の糸魚川と山の信州をつなぐ人と物資と情報が往来する動脈であり、江戸時代には松本街道として整備されました。この街道は海産物や塩などが歩荷や牛方によって運ばれ、鉄道(大糸線)と国道(148号)の開通するまで重要な役割を担っていました。そうした往時を物語るのが根知谷の有志によって収集され、及び整理された「越後姫川谷のボッカ運搬用具コレクション」です。



松本街道

起点となる糸魚川の白馬通りには物資を扱う問屋が軒を並べました。街道沿いの西性寺には、牛方の連れた牛の手綱を結んだ石や、道標や道祖神・石仏なども残され当時の様子を知ることができます。

### <海の路>

本市は廻船も盛んで、北前船の船主も多く伊藤家文書や大野屋文書などが残り当時の廻船の様子を知ることができます。当地から米などを大阪に運び、瀬戸内などの塩、砂糖、石造物、焼き物などを買い付けて当地に卸しています。本市の海岸部に位置する神社には尾道産石造物が数多く奉納され、清崎城跡やその城下における出土陶磁器に唐津焼や伊万里焼が多いことはこのことを如実に示しています。また、当地の古老が陶磁器のことを「からつもの」と呼ぶことなどは、西の物資と情報に慣れ親しんでいたことの名残であると思われます。

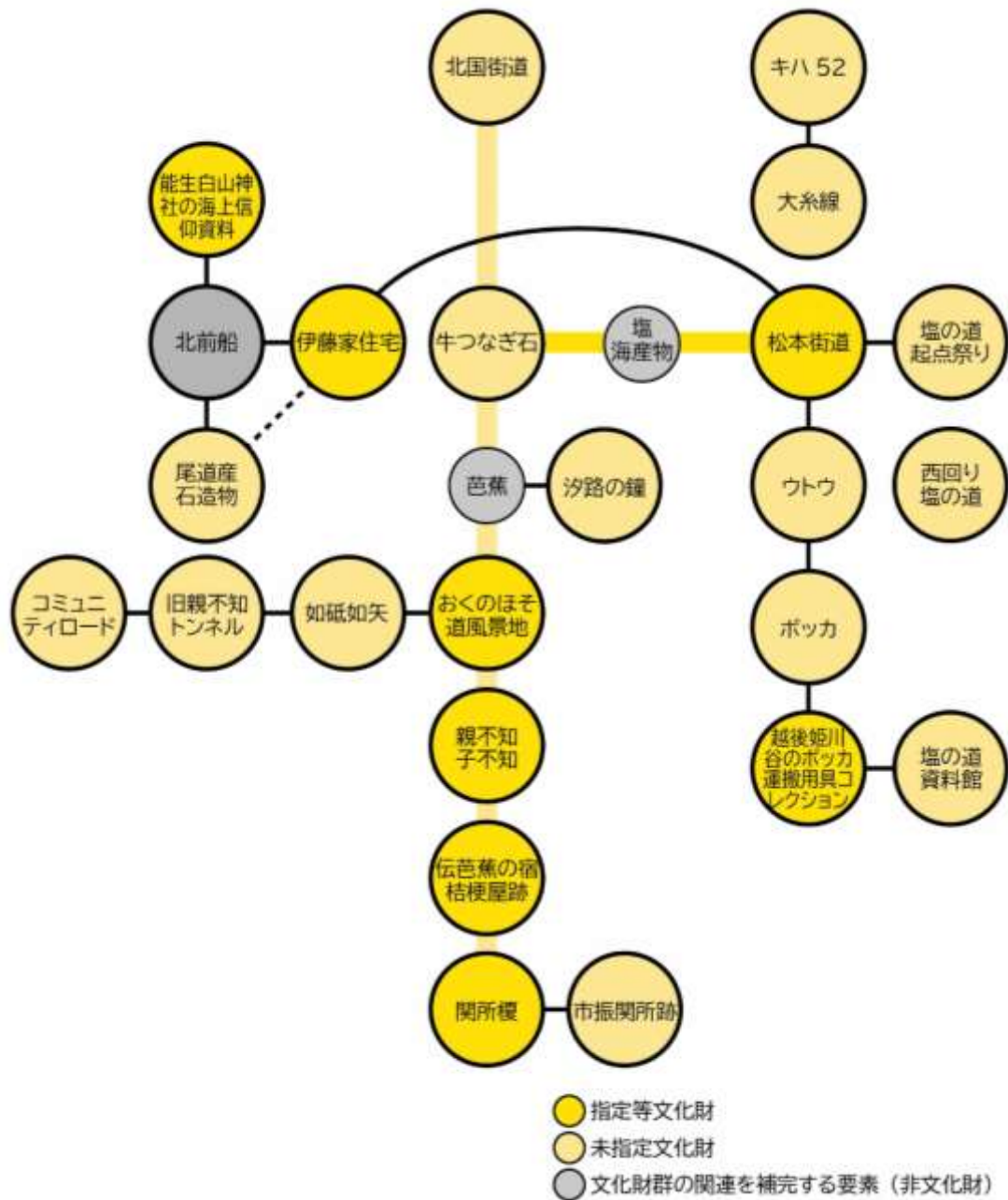


尾道産石造物

## ②構成文化財

番号	名称	区分	指定等	概要
124	おくのほそ道の風景地 親しらず	名勝地	国	松尾芭蕉の俳句に貴かれた「不易と流行」の具現化された「おくのほそ道」とその舞台
125	親不知子不知	名勝地	県	飛騨山脈の末端が断崖となって海に迫る景勝地
126	伝芭蕉の宿桔梗屋跡	遺跡	市	松尾芭蕉の市振宿での名句「一家に遊女もねたり萩と月」の舞台と伝えられる宿泊地
127	関所榎	植物	市	市振関所の唯一の名残
128	上路山姥の伝説地	無形民俗	市	世阿弥の謡曲「山姥」に因んだ伝説の伝承地
129	俳諧本	美術工芸品	未指定	俳諧『糸魚川』は当地の俳人が残したもの
130	夕路の鐘	美術工芸品	県	明応年間に能登国で鑄造され、芭蕉も題材としたと伝えられる。
131	市振駅舎、同ランプ小屋、親不知駅舎	建造物	国登録	明治末期に開業した北陸本線当時の駅舎と関連施設
132	松本街道	遺跡	国	「敵に塩を送る」故事で知られる歴史の道
119	糸魚川藩陣屋跡(再掲)	遺跡	未指定	市街地化して、遺構未確認
133	岩崎家住宅主屋・土蔵、刀剣	建造物 美術工芸品	国登録	西海谷の割元を務めた大和川村庄屋の岩崎家の遺構
134	如砥如矢	名勝地	国	明治の馬車道開通時に岩に刻まれた石刻文字
135	親不知コミュニティロード	名勝地	未指定	日本の道 100 選、土木遺産
136	おつるの滝	名勝地	未指定	「落ちり水」の地名の由来となった滝
137	旧親不知トンネル	建造物	未指定	明治末期に開通の北陸本線鉄道隧道、土木遺産
138	市振関所跡	遺跡	未指定	高田藩の加賀前田家に対する関所
139	越後姫川谷のポッカ運搬用具コレクション	有形民俗	国	松本街道を行き来した歩荷の使用した用具のコレクション
140	塩の道資料館	建造物	未指定	山間部の民家を移築し、資料館とした。
141	牛つなぎ石	遺跡	未指定	牛方が休憩の際、牛の手綱を結んだ石
142	歩荷	無形民俗	未指定	松本街道を行き交う荷物の運搬を担った背負人
143	牛方	無形民俗	未指定	松本街道を行き交う荷物を牛につけ運んだ人足
144	キハ 52	有形民俗	未指定	大系線で旅客を輸送した機動車両
145	大系線	建造物	未指定	長野県松本駅と糸魚川駅を結ぶ鉄道路線
146	塩の道起点祭り	無形民俗	未指定	有志によって運営されるイベント
147	ウトウ	遺跡	未指定	長年の往来により、U字形の切通しとなった道
148	加賀の井の蔵	建造物	未指定	旧本陣土蔵
149	道標・道祖神	建造物	未指定	旧街道沿いに残る、道しるべや石造文化財
150	道路元標	建造物	未指定	大正時代設置。町村間の距離を測るための標識
151	信州問屋由来記鑑	美術工芸品	未指定	信州問屋に伝わる塩の道の慣行を記録した文書
152	西回り塩の道	遺跡	未指定	川西筋を通じる松本街道で須沢～国界橋間
155	鬼伏番所跡	遺跡	未指定	高田藩の関所で、後に浜番所となった。
154	北国街道	遺跡	未指定	前田三家が参勤交代で通行する北陸道を指す。
155	加賀の井文書	美術工芸品	未指定	糸魚川町年寄を務めた小林家伝来の地方文書
156	岩崎家文書	美術工芸品	未指定	西海谷割元役を務めた岩崎家伝来の地方文書
157	村方文書	美術工芸品	未指定	各村の庄屋等に伝来した地方文書
158	信越国境裁定絵図	美術工芸品	未指定	山口村と信州中谷村・土谷村の間の山論資料
159	苦竹原絵図	美術工芸品	未指定	蓮台寺・一の宮・上刈・大野間の山論資料
160	清崎城障壁画(浄福寺板戸)	美術工芸品	未指定	廃城により更地となってしまった清崎城唯一の遺構
161	伊藤家住宅(含古文書)	建造物 美術工芸品	国	北前船主として活動した近世和風建築を代表する建造物。古文書も重要な資料
162	大野屋文書	美術工芸品	未指定	北前船の活動を知ることができる資料
163	尾道産石造物	美術工芸品	未指定	北前船で瀬戸内から運ばれた石造物

③構成文化財関係図



#### ④課題

街道や廻船に関連する江戸時代の文書が多くありますが、価値付けが不十分なため指定物件が少ないのが現状です。

関連文化財群の構成文化財の種類が多く、かつ、市域の広範囲に分布しているため、活用が充実していません。

史跡松本街道は、融雪期の土砂崩れ等で度々、き損も発生しています。また、ハイキング等で人気のスポットとなっていますが、その歴史的な価値の周知などとの一体的な活用ができていない現状があります。また、加賀街道は、そのほとんどが舗装された道となり歴史的な価値付けが不足しています。

- 江戸時代の文書の価値付けが不十分です。
- 市内各所に分布する構成文化財の広域的な活用が行われていません。
- 史跡松本街道の一体的な保存・活用が不十分です。
- 加賀街道の歴史的な位置付けが不足しています。

#### ⑤方針

- ・江戸時代の文書の指定文化財増加に向けた資料の詳細調査を実施します。
- ・2つの街道の受入環境を整備し、交流人口の拡大に寄与する取組を促進します。
- ・史跡松本街道の一体的な保存・活用を推進します。
- ・加賀街道の調査を推進します。

#### ⑥措置

番号	措置名	内容	事業主体				計画期間(年度)				
			行政	所有者等	学校・団体・企業等	市民	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
78	交易や街道に関する文書資料の詳細調査の実施	文書資料の現状や保存状況の確認、実態調査等の実施	○	○		○					
79	街道ごとの観光モデルコースの作成	関係団体との協働による街道ごとの観光モデルコースの作成	○	○	○	○					
80	誘導施設の整備検討	市内を広域に広がる街道やそのストーリーをまとめて公開展示できる施設の整備を検討	○			○					
81	史跡松本街道保存活用計画(仮称)の策定	史跡松本街道の保存活用計画の策定	○								
82	加賀街道の調査推進	加賀街道の調査を実施し、歴史的な位置付けを行う	○		○	○					

## (7)山と海と一人々の暮らしと信仰―

### ①ストーリー

戦後の高度成長期によって、私たちの生活や地域社会は大きく変化しました。そして、近年の少子化、高齢化、過疎化によって、更に大きく変わろうとしています。本市には中世・近世からの伝統を引き継ぐ民俗芸能や年中行事あるいは民具等が大切に、今に伝わっています。



民具

### <暮らしと信仰>

春の大祭に奉納される「糸魚川・能生の舞楽」は大阪の四天王寺舞楽の影響をうかがわせ、秋の大祭に奉じられる日吉神社に伝わる延年「根知山寺の延年」は中世の雰囲気を含んで伝えています。

川詰集落の「川詰神楽と踊り」は、能生谷に伝わってきた獅子神楽の祖形とも言われています。

また、国家の慶事などに厳粛に催される「新町翁舞式」は、早川谷の中心地として栄えた新町の繁栄を今に伝えています。



藤崎観音堂の裸胴上げ

一年の吉凶占いあるいは厄払いなどの庶民の生活に欠かせない行事としては、東と西に分かれて青竹を引き合せて豊漁豊作を占う小正月行事「青海の竹のからかい」、フンドシ姿の若者による胴上げによって厄を払う「藤崎観音堂の裸胴上げ」があり、雪国の厳しい冬を乗り越える民衆の力強さを感じることができます。



根知の七夕

こうした指定文化財に加え、森本神楽や水保神楽などの出雲流神楽、地域独特の盆踊りである“ヨーホイ踊り”が市内各地で传承されています。さらに、人形などで飾った綱を通りに渡す七夕飾りを今に伝える「根知の七夕」、短く切った葦への粥の詰まり具合で豊漁豊作を占う能生白山神社の「筒粥神事」、そして祈年祭、新嘗祭、除夜祭に各二十五膳しんせんの神饌しんせんを供える天津神社の神事「七十五膳」など、興味深い年中行事も伝わっています。



バタバタ茶

食文化では、谷ごとに様相の異なる笹寿司や、町家文化の中で発達し、2本の茶筌ちやせんがつながる独特な形状をした夫婦茶筌を使って泡立てるバタバタ茶などが現在にも伝わっています。

### <山に暮らす>

私たちの生活は、交通網の整備や新しい素材の開発などによって便利になりました。しかし、そうした生活は古来の伝統技術や様々な工夫や努力によって支えられてきたものであり、それを今に伝えるのが様々な民具類と言えます。

また、近世末に豊かな森林資源と農地を求めて木地師たちが移住した大所の木地屋集落には、戦後まで盛んに行われていた木地製作や塗りに関する用具や製品が「糸魚川木地屋の製作用具と製品コレクション」として伝わり、自然とともに暮らした木地師たちの工夫と生活の様子を今に伝えています。



糸魚川木地屋の製作用具と  
製品コレクション

### <海に暮らす>

「西浜」と呼ばれた当地は、砂浜近くに山が迫り薪の調達が比較的容易であったことから、揚げ浜式の製塩がかつて盛んに行われ、その用具類や沿岸漁業に用いられた「ドブネ」などは市によって収集されています。このほかにも昭和40年代まで使われていた農具、生活用具、衣類などが収集され、能生歴史民俗資料館などに展示されています。



漁具

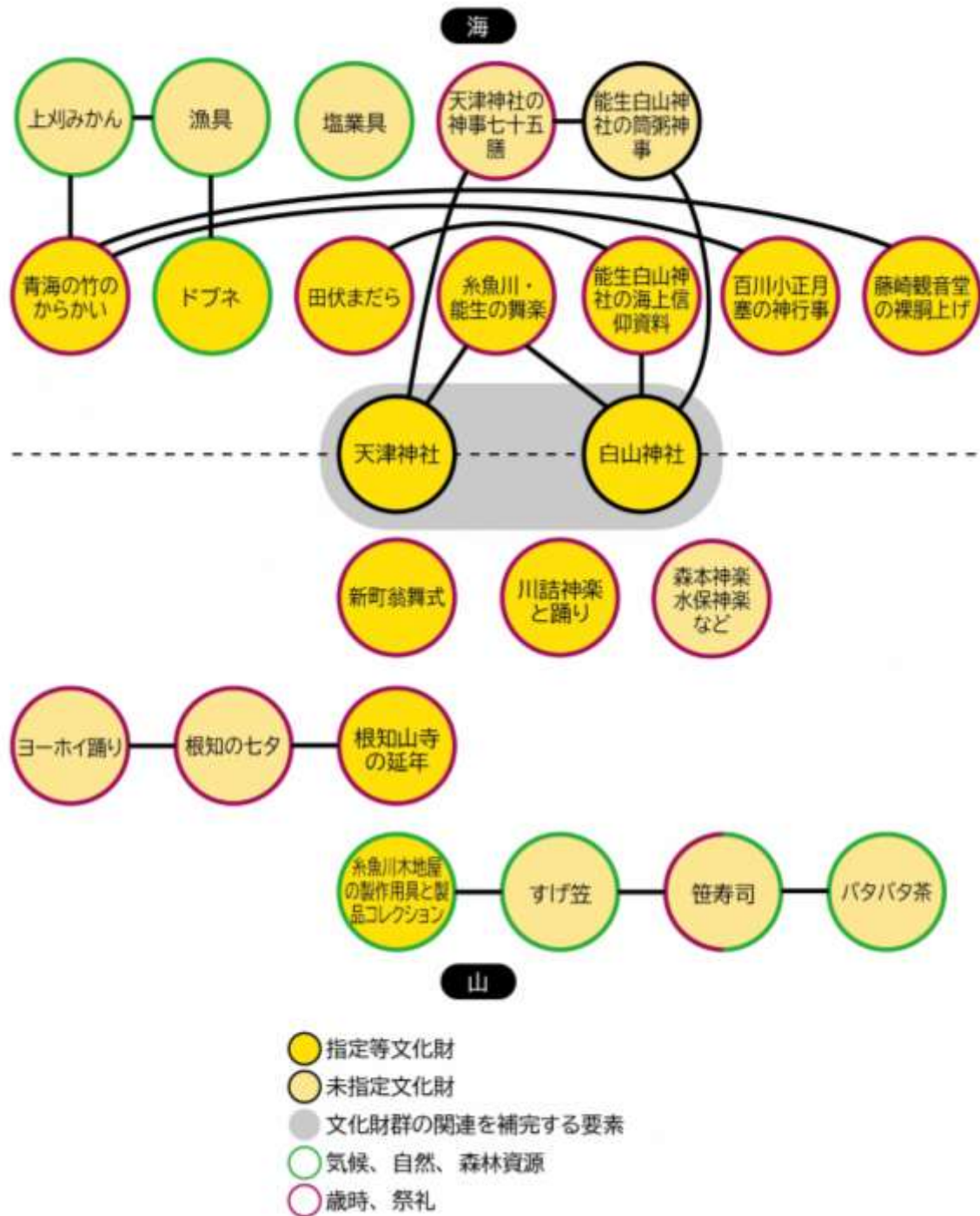
## ②構成文化財

番号	名称	区分	指定等	概要
164	青海の竹のからかい	無形民俗	国	歳神の来臨を仰ぎ、その神前において豊作・豊漁を青竹を引き合って占うもので、「さいの神焼き」を通じて新年の再生を願う。
165	糸魚川・能生の舞楽	無形民俗	国	天津神社と能生白山神社で伝承されてきた、大阪四天王寺の流れをくむと言われる宮中舞楽
166	根知山寺の延年	無形民俗	国	おててこ舞を含む、室町時代以来の伝統を受け継いだ舞楽・稚児舞・神楽などから成る芸能
167	けんか祭り	無形民俗	未指定	神輿をぶつけ合う勇壮な行事
168	日光寺舞楽	無形民俗	未指定	神仏習合の早川日光寺で復活した、伝統の神楽
169	ぬけま祭り	無形民俗	未指定	地すべりや土砂崩れなどの祈願のための祭祀。戸隠との関係を示す、民間信仰
170	七十五膳	無形民俗	未指定	天津神社に伝わる。
171	筒粥神事	無形民俗	未指定	能生白山神社に伝わる。
172	百川小正月塞の神行事	無形民俗	市	当地方の小正月行事を代表する行事として、以前から紹介されていた。
173	藤崎観音堂の裸胴上げ	無形民俗	市	藤崎地区に伝わる小正月の奇祭
174	田伏まだら	無形民俗	市	日本海側の集落に多く点在した民謡。新潟県では田伏地区だけに漁師の祝儀唄として伝承
175	川詰神楽と踊り	無形民俗	市	神楽としてはわずかに伝承されてきたもの
176	新町翁舞式	無形民俗	市	早川谷の新町に伝わる。
177	ドブネ	有形民俗	市	丸木舟から構造船へ発展する過程の製造を示す。
178	羅漢墓(西海)	建造物	未指定	松本街道道標勸進などに尽力した僧侶の墓
179	糸魚川木地屋の製作用具と製品コレクション	有形民俗	国	漂泊の諸職とも称される木地師が、山林資源の豊富な大所村へ定住し、新田村として農業を営みながら木地椀等の生産流通に関わった一連の資料
180	能生白山神社の海上信仰資料	有形民俗	国	船絵馬・船額などから成る。
181	大洞の春駒	無形民俗	未指定	大洞地区に伝わる春駒
182	筒石の神楽	無形民俗	未指定	筒石地区に伝わる神楽
183	森本神楽	無形民俗	未指定	平地区に伝わる神楽
184	越後綾踊	無形民俗	未指定	能生地域に伝わる舞
185	新戸大神楽	無形民俗	未指定	新戸地区に伝わる神楽
186	木浦の神楽	無形民俗	未指定	木浦地区に伝わる神楽
187	水保神楽	無形民俗	未指定	水保地区に伝わる神楽
188	須沢神楽	無形民俗	未指定	須沢地区に伝わる神楽
189	田海大神楽	無形民俗	未指定	田海地区に伝わる神楽
190	今村新田神楽	無形民俗	未指定	今村新田地区に伝わる神楽
191	市振神楽	無形民俗	未指定	市振地区に伝わる神楽
192	上路の神楽	無形民俗	未指定	上路地区に伝わる神楽
193	小滝稚児舞	無形民俗	未指定	小滝地区に伝わる稚児舞
194	根知の七夕	有形民俗	未指定	人形などで飾った綱を通りに渡す七夕飾り
195	笹寿司	有形民俗	未指定	具の違いや、製造用具の多様性
43	上刈みかん(再掲)	植物	未指定	指定された木が枯死したため、指定解除
196	石場かち	遺跡	未指定	(新潟県調査による)
197	バタバタ茶	無形民俗	未指定	御風が「タテ茶の習俗」として紹介
198	石碑(講・巡礼・功労)	建造物	未指定	三十三番観音や庚申塔などの石造物
199	漁具	有形民俗	未指定	沿岸部の漁撈用具、収集されるも未整理
200	塩業具	有形民俗	未指定	体験者による再現で継承
201	一本ソリ	有形民俗	未指定	(木地屋資料に指定物件)
202	雪室跡	有形民俗	未指定	冷蔵庫のない時代に発達した施設



番号	名称	区分	指定等	概要
203	清崎神社	建造物	未指定	明治になって糸魚川藩主を神として祀った。
204	除雪具	有形民俗	未指定	(木地屋資料に指定物件)
205	トンボ	有形民俗	未指定	中門造り民家のない地域の冬期間仮設構造物
206	すげ笠つくり	無形民俗	未指定	一部映像記録化して保存

③構成文化財関係図



#### ④課題

民俗文化財の保存・継承を担う保存団体は、人口減少・高齢化による人材不足が顕在化し、担い手が不足するなどの理由で存続が危ぶまれています。

バタバタ茶は、一度は保存団体が解散してしまいましたが、新たに新潟県立海洋高等学校が伝承活動に取り組んでいます。本市の町家文化を表出した食文化として、継続的な活動が求められます。

また、笹寿司は谷ごとに違いが見られる、地域の個性を表す郷土食ですが、地域の活性化につながる活用には至っていません。

- 民俗文化財の保存団体への記録の保存や確実な継承に向けた支援が不足しています。
- バタバタ茶や笹寿司など地域の個性を表す郷土食の保存・活用の推進が不十分です。

#### ⑤方針

- ・古くから伝えられてきた山の暮らし、海の暮らしや豊作・豊漁のための行事の記録・保存と伝承に取り組めます。
- ・風俗慣習、民俗芸能、伝統行事の保存に関わる団体への支援を実施します。
- ・バタバタ茶や笹寿司などの郷土食に関する詳細調査を行い、保存・継承及びまちづくりへの活用のための支援を実施します。

#### ⑥措置

番号	措置名	内容	事業主体				計画期間(年度)					
			行政	所有者等	学校・団体・企業等	市民	R6	R7	R8	R9	R10	
83	デジタルアーカイブの整備	無形民俗文化財のデジタルアーカイブの整備	○	○			→					
84	保存団体への支援	民俗文化財の確実な保存継承のため保存団体の活動に対する助言	○	○	○	○	→					
85	郷土食の調査の実施	郷土食に関する調査及び記録等の作成	○		○	○	→					

## (8)相馬御風の業績と地域文化の近代化

### ①ストーリー

相馬御風は、早稲田大学校歌やカチューシャの唄、春よ来いの作詞などを手がけ、大正5年に本市へ帰住して以降は、在京の研究者との交流を続けながら、文芸活動に励みました。短歌結社では広く市民と共に活動し、良寛研究でも多くの人々にその教養の裾野を広げることにつながりました。



相馬御風

### <御風の業績>

本市は、加賀街道を通じた西や東からの人・モノ・情報の流れ、廻船による遠方の習俗伝播など、江戸時代は人口増も含め多様な世相の中で発展を遂げてきました。近代になって、藩校などによって人物の輩出の顕著でなかった当地においては、中川直賢など中央で学んだ外部からの人材が中心となり地域を先導しました(殖産興業・地域開発・教育)。その後、教育界と有志を中心に文化がけん引されていましたが、大正5年に東京で学び、帰郷した相馬御風は、地域の人々に近代思想や文化を浸透させる役割を果たしました。



木造十一面観音立像

鉄道や幹線道路が必ず通る要衝であることにより、必然的に人や情報が行き交い、文化的な独自性が高められる中、在京の専門家などから直接指導を得られる人的交流を保った御風は、「水保観音」と親しまれていた「木造十一面観音立像」の国宝指定(旧国宝)に尽力するなど、当地の歴史文化に深い眼差しを注ぎました。

御風は、海外文学のアウトプットも多く、「口語自由詩」の先駆的作品や童謡・唱歌の作詞、校歌・社歌などの作詞では、新たな時代を先取りした業績が評価されています。

郷里糸魚川で過ごした後半生は、良寛顕彰や郷土研究に力を注ぎます。



浦本小学校 校歌額

御風の活躍した近代化しつつあった地方都市をしのぶ名残は市内の随所にあって、その時代を追体験することも可能です。

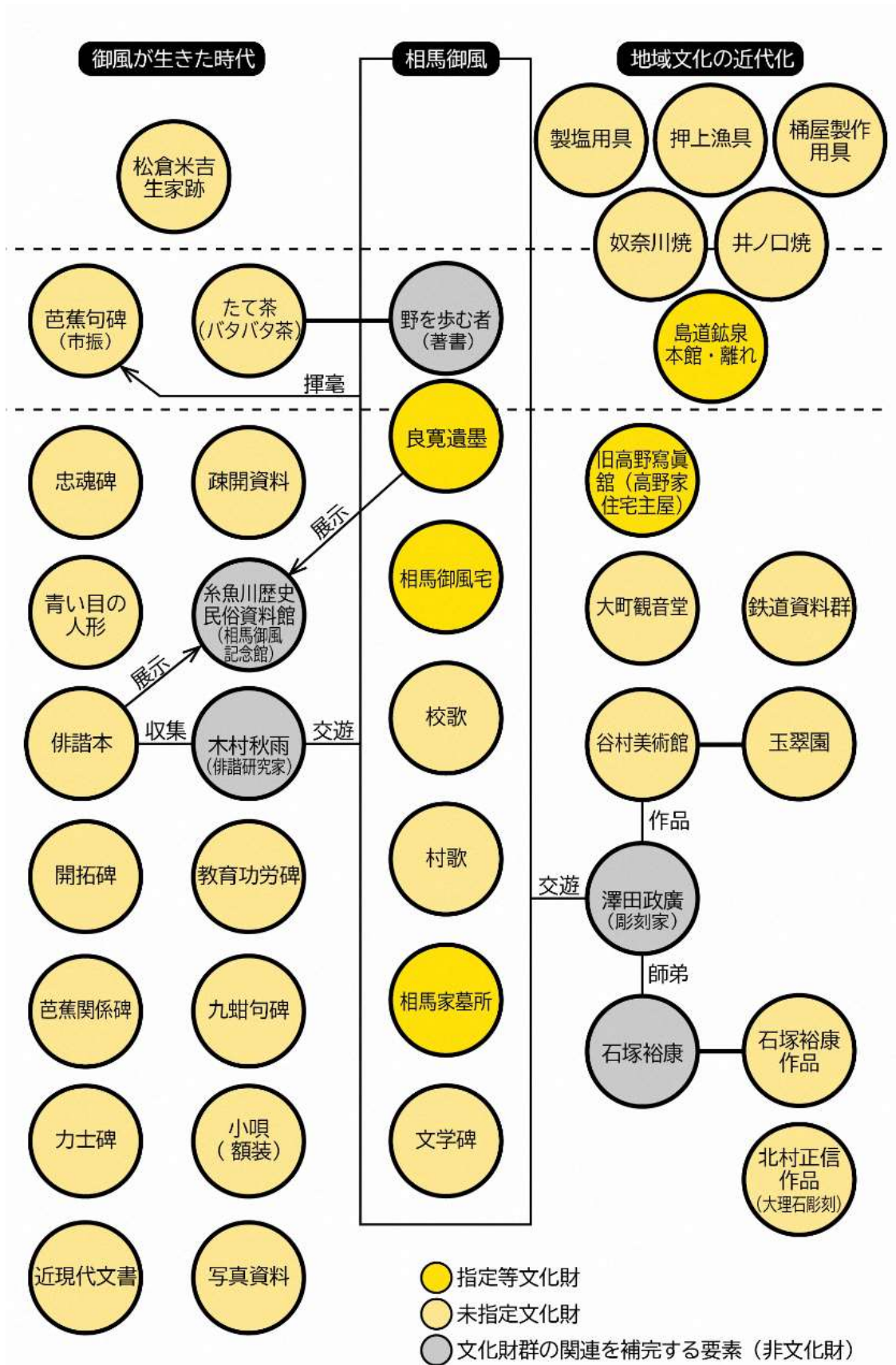
御風作品に表現された場面を探して、その心情を想い、御風の人生に思いを馳せ、地方にあってどう生きるべきか、これからの地方都市はどうあるべきかの答えにたどり着けるかもしれません。

御風が作詞した校歌をもつ学校で学ぶ児童・生徒にも、その人となりや業績に触れ、新たな時代を作る知恵や希望を見出して欲しいものです。

## ②構成文化財

番号	名称	区分	指定等	概要
207	相馬御風宅	遺跡	県	郷土の文人、相馬御風の住宅
208	高野寫眞館	建造物	国・登録	洋風建築の古い事例
209	島道鉱泉主屋・離れ	建造物	国・登録	大正時代の温泉施設建造物
210	良寛遺墨	美術工芸品	市	相馬御風コレクションのうち、良寛関係資料
211	桶屋製作用具	有形民俗	未指定	桶などの結物の製作に用いられた道具
212	相馬家墓所	遺跡	未指定	大町墓地に所在する御風も葬られた墓所
213	大町観音堂	建造物	未指定	町中に残された集会施設の役割を持つ建造物
214	九蛸句碑	建造物	未指定	句集『糸魚川』を編んだ高野九蛸の石碑
215	糸魚川ゴゼ	無形民俗	未指定	高田ゴゼとともに、上越地域で活動した瞽女集団
216	北村正信作品	美術工芸品	未指定	社寺建築や大理石彫刻作品を手がけた三代
217	松倉米吉生家跡	遺跡	未指定	早世の歌人松倉米吉の生家跡地
218	芭蕉関係碑	建造物	未指定	市内に所在する松尾芭蕉の石碑
219	文学碑	建造物	未指定	市内各地の所在する歌碑・句碑等
220	奴奈川焼	美術工芸品	未指定	当地で製作された陶芸作品
221	井ノ口焼	美術工芸品	未指定	江戸時代に生産された陶器窯跡も残る。
222	石塚祐康作品	美術工芸品	未指定	近代彫刻作品
223	青い目の人形	美術工芸品	未指定	戦争関連の資料
224	映像・音声資料	美術工芸品 無形民俗	未指定	明治・大正・昭和前期に撮影・録音されたもの
225	近現代文書	美術工芸品	未指定	歴史的公文書を含む近代・現代の文書資料
226	忠魂碑	建造物	未指定	戦争を物語る石碑
227	疎開資料	美術工芸品	未指定	戦時中の疎開に関する資料
228	開拓碑(土地・水路 ほか)	建造物	未指定	明治の水源開削や開墾記念の石碑
229	教育功労碑	建造物	未指定	筆塚など教育に貢献した人物を顕彰する石碑
230	鉄道資料群	建造物	未指定	廃線となったレンガ隧道・橋脚、双頭レールなど
231	谷村美術館	建造物	未指定	村野藤吾による設計、御風と親交のあった彫刻家 澤田政廣の作品展示
232	玉翠園	名勝地	未指定	中根金作による回遊式日本庭園
233	校歌(校歌額)	美術工芸品	未指定	歌い継がれる市内校歌の歌詞・楽譜等
234	村歌(村歌額)	美術工芸品	未指定	歌い継がれる合併前旧村・町歌の歌詞・楽譜等
235	小唄(額装)	美術工芸品	未指定	額装された「糸魚川小唄」

③構成文化財関係図



#### ④課題

相馬御風の功績と本市の近代文化の発展とその関係性の把握・周知が不十分となっています。その要因としては、相馬御風関連資料は文献資料が多く、一見すると難しく感じられることがあります。市内の児童・生徒には、校歌の作詞等で相馬御風の名は知られていますが、その功績や本市の近代文化の発展の関連性については知られていない部分が多くあります。

また、個人所有の御風資料も多くありことから、資料の把握調査や収集が必要です。

- 相馬御風の功績と本市の近代文化の発展に関する詳細調査や市民への周知が不十分です。
- 御風資料の調査・収集が不十分です。

#### ⑤方針

- ・相馬御風の功績を周知し、広く知ってもらう活動を推進します。
- ・本市の文化の近代化に関する資料の調査・収集を推進します。

#### ⑥措置

番号	措置名	内容	事業主体				計画期間(年度)				
			行政	所有者等	学校・団体・企業等	市民	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
86	相馬御風に関する詳細調査・研究の推進	相馬御風についての詳細調査・研究を推進	○		○		→				
87	相馬御風の知名度向上	相馬御風を広く知ってもらう活動を推進	○		○	○	→				
88	相馬御風資料のデータベース化	市で所有している相馬御風資料のデータベースを作成	○				→				
89	相馬御風作品の保存	個人等の所有する相馬御風資料の適切な保存	○	○		○	→				
90	相馬御風資料の現代的表現への転換	相馬御風の作品等を用いた若年層向け資料の作成	○		○	○		→			
91	近代化資料の調査・把握	糸魚川の文化の近代化に関する資料の調査を推進	○				→				

## (9)引き継がれる災害の記録

### ①ストーリー

本市は日本列島中央部に位置し、本州の最も幅広い部分に日本の屋根とも言うべき隆起山脈を有しています。そのような急峻な地形や、フォッサマグナの比較的新しい地層は崩れやすく、地すべり崩壊地などを多く抱えています。急流河川は氾濫を繰り返し、冬期間は西寄りの季節風が時折、波浪による海岸浸食をもたらします。また、豪雪地帯とも重なり、雪崩などによる被害も頻発しています。

先人は、これら多くの災害を克服してきており、その記録化もまた先人の努力で行われてきています。

薄れゆく記憶と、忘れ去られた災害の事実を記録し、防災教育の教材に活かすための調査・研究活動は、ジオパーク研究助成でも取り組まれ、多くの成果が蓄積されつつあります。

### <水害・土砂災害>

急峻な地形を多く有する本市では、豪雨による水害や融雪期の土砂災害が幾度となく発生しています。記録に残る中、古くは、延享4（1947）年8月の豪雨による市域各所で水害・土砂災害が発生した記述があります。幾度なく発生した水害の対策として、姫川では天明7（1787）以降、国役普請による堤防工事やその修復が行われ、現在でも堤防は残されています。しかし、昭和・平成にも大規模な水害は発生し、昭和38（1963）年の小泊地すべり災害や、平成7（1995）年7月の7.11水害や、その翌年の蒲原沢土石流災害などで甚大な被害を受けています。

### <雪害>

山間地にも多くの集落を有し、特別豪雪地域に指定されている本市では、雪崩などの雪害も多く発生しています。国史跡松本街道の戸倉山の麓にある白池では、文政7（1825）年に大規模な雪崩が発生し、歩荷宿を直撃し21名が犠牲になりました。また、大正11（1922）年には旧北陸本線親不知－青海駅間の勝山トンネル西口で雪崩が発生し、走行中の列車が巻き込まれ、除雪作業員のほか92名が犠牲になりました。これは、日本国内で発生した雪崩による鉄道事故としては、史上最大の惨事です。

### <災害と遺跡>

大和川地内の六反田南遺跡は、海岸近くに立地する縄文遺跡として、出土品も新潟県有形文化財に指定されるなど高い評価を受けており、縄文時代中期中頃に土石流の被災後、再度集落が形成されたことが分かっています。焼山の火山活動は、山麓のブナ林を埋め尽くしたことも判明していますが、田屋地内の立ノ内遺跡は、火山性堆積物に平安時代の遺構が構築され、それを埋めた火砕流二次堆積物の上に室町時代の遺構が掘り込むなど、災害との関係を物語る遺跡も多くあります。



②構成文化財

番号	名称	区分	指定等	概要
236	7.11水害(山之坊地内に記念碑)	水害	未指定	平成7(1995)年7月11日、姫川・関川水系に豪雨災害が発生し、一般国道148号やJR大糸線が甚大な被害に見舞われた。
237	蒲原沢土石流災害慰霊碑	土砂災害	未指定	平成8(1996)年12月6日に蒲原沢で土石流が発生し、7.11水害の災害復旧工事に携わっていた14名が死亡した。
238	県道山之坊大峰小滝線 開設記念碑	水害	未指定	姫川流域の蒲原沢では、平成6年(1994)11月に完成した新国界橋が7.11水害で流失し、一般国道148号が不通となった。災害の2か月後に、国道の代替道として県道山之坊大峰小滝線が緊急開設された。
239	戸倉山雪崩 白池地蔵	雪害	未指定	文政7(1825)年、戸倉山で大規模な雪崩が発生した。当時、戸倉山の麓の白池には松本街道(塩の道)の歩荷宿があり、雪崩で21名が犠牲となった。その供養のため宿跡に建立された白池地蔵は、昭和46(1971)年に山口関所跡付近に移された。
240	勝山大雪崩慰霊碑(歌)	雪害	未指定	大正11(1922)年2月3日、糸魚川市の旧北陸本線親不知-青海駅間の勝山トンネル西口で雪崩が発生し、走行中の列車が巻き込まれ、除雪作業員ほか92名が犠牲となった。日本国内で発生した雪崩による鉄道事故としては、史上最大の惨事である。
241	勝山大雪崩遭難碑(青海)	雪害	未指定	同上
242	勝山大雪崩殉難碑(蓮台寺)	雪害	未指定	同上
243	親不知殉難碑(大和川)	雪害	未指定	同上
244	親不知殉難碑(能生小泊)	雪害	未指定	同上
245	朝霧沢雪崩 石造地蔵尊像	雪害	未指定	寛政3(1791)年12月25日、朝霧沢で小滝から年貢収納道中の5人が雪崩により犠牲となった。
246	古川B遺跡	水害	未指定	丁卯の延享4(1747)年8月19日の大風雨により、市域の至る所で水害・土砂災害が発生したと古文書に記載がある(卯年の満水)。大野の古川B遺跡は、その災害の痕跡をのこす。
247	「水神」堤防	水害	未指定	天明7(1787)年以降、姫川の氾濫対策として、国役普請による堤防工事やその修築が行われた。
248	ブナ埋没林	火山災害	未指定	焼山噴火活動を物語る火砕流堆積物等により埋没したブナの立木
249	山岸遺跡	水害	未指定	土石流危険渓流地の中に埋没しており、北陸新幹線建設の事前調査で見えられた。
250	糸魚川市駅北大火	火災・風害	未指定	平成28(2016)年12月22日、強風により147棟が焼損した近年稀に見る大火災
251	小泊地すべり災害百霊廟	土砂災害	未指定	昭和38(1963)年3月16日、能生小泊で大規模な地すべりが発生し、土砂が海まで流出した。この地すべりにより、死者行方不明者4名、負傷者19名、全壊30戸の被害が出た。

番号	名称	区分	指定等	概要
252	地すべり 惨死者之碑	土砂災害	未指定	昭和 2(1927)年 2 月 14 日、大洞で急激な融雪による地すべりが発生した。幅約 200m、長さ約 400m にわたる地すべりにより、12 名が死亡したほか、耕地や家畜等にも大きな被害が及んだ。「融雪期型地すべり」が全国的に広く認知されるきっかけとなった。
253	外波水害復興記念碑	水害	未指定	昭和 44(1969)年 8 月 9 日未明の局地的な集中豪雨により、外波川が氾濫した。濁流は土石を伴い鉄砲水となって集落を襲い、死者 2 名、重軽傷者 72 名、集落の全戸が被災する大災害となった。
254	玉ノ木地すべり災害 受難者慰霊碑	土砂災害	未指定	昭和 60(1985)年 2 月 15 日、突如として玉ノ木の裏山で幅約 70m、長さ約 110m の地すべりが発生し、10 名が死亡した。近くに「復興記念碑」も建てられている。
255	柵口なだれ災害受 難者慰霊碑	雪害	未指定	昭和 61(1986)年 1 月 26 日の夜半、権現岳中腹で発生した表層雪崩により、麓の柵口では一瞬のうちに三十数名が飲み込まれ、13 名の命が奪われた。



蒲原沢土石流災害慰霊碑



「水神」堤防

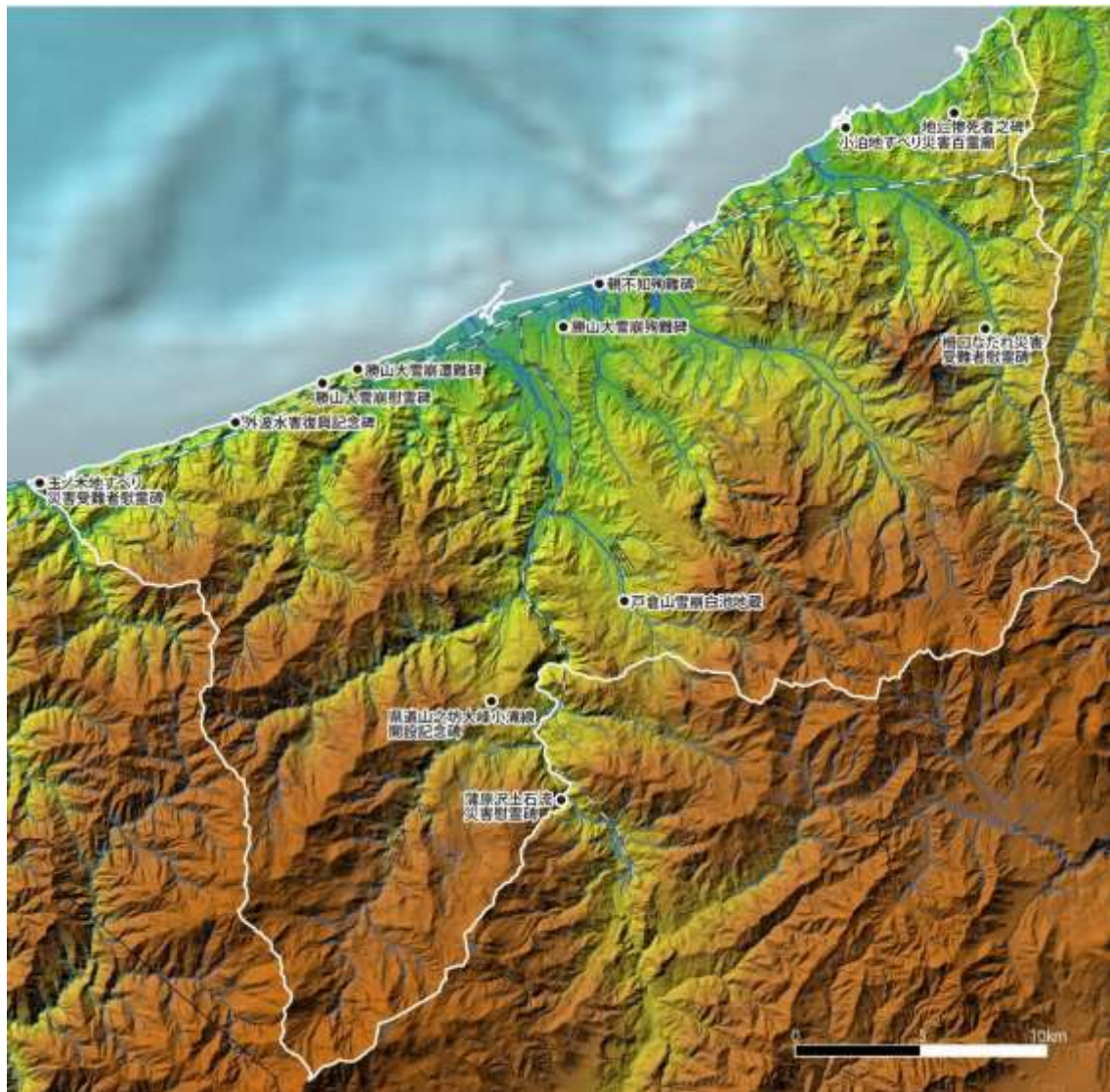


小泊地すべり災害百霊廟



外波水害復興記念碑

③構成文化財位置図



#### ④課題



多くの地形・地質に関する文化財を有する本市では、地質構造や災害があった際のメカニズムなどの調査は進んでいます。しかし、伝承碑や文献、映像資料等の把握や被害状況の詳細、被災からの復興に向けた人々の取組やその成果についての調査は活発に行われていない現状があります。また、災害を後世に伝え生かす取組は市内の小・中学校や高等学校では行われていますが、市民全体に向けた発信は行われていない現状があります。

- 伝承碑や文献、映像資料等の把握や被害状況の詳細などの災害に関する詳細調査が不十分です。
- 災害の教訓の整理と、市民への地域防災に向けた周知が行われていません。

#### ⑤方針

- ・災害に関する調査を推進し、災害の事実と人々の生活との関連付けを行います。
- ・これまでの災害からの教訓を整理し、市民に周知して地域防災力の向上を図ります。

#### ⑥措置

番号	措置名	内容	事業主体				計画期間(年度)					
			行政	所有者等	学校・団体・企業等	市民	R6	R7	R8	R9	R10	
92	災害に関する資料の把握・詳細調査の実施	資料の調査・研究を行い、調査結果をデジタル化して広く周知	○	○	○	○						
93	伝承碑の把握	伝承碑の調査を行い、碑の画像データと位置情報を国土地理院「自然災害伝承碑」にリンクさせて活用	○	○	○							
94	防災歴史講座の実施	調査した過去の災害を基に防災歴史講座を実施し、防災教育に活用	○		○	○		